

保護者等へのアンケート 総括

回答結果

調査対象	対象者数	回答人数	回答率
市立小中学生の保護者	9,710	6,025	62.0%
就学前乳幼児の保護者、妊娠中のご家庭	5,678	2,772	48.8%
県費教職員	813	765	94.1%

※就学前乳幼児の保護者、妊娠中のご家庭：以下、「未就学児等保護者」

最適な教育環境の提供にあたり、考慮すべきこと

区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	安全安心な学校生活 46%	安全安心な学校生活 48%	安全安心な学校生活 36%
2	学力の保障 21%	適切な範囲での通学距離 (時間) 19%	望ましい児童生徒数・学級数 30%

- ・「安全安心な学校生活」は全回答区分で考慮すべきこと
- ・次に考慮すべきこととしては、各回答区分で異なる

地域住民として学校に求める機能（教員：地域住民から求められる機能）

区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	児童生徒が健全に成長できる環境 57%	児童生徒が健全に成長できる環境 57%	児童生徒が健全に成長できる環境 53%
2	地域の防災拠点として安全安心な施設 22%	地域の防災拠点として安全安心な施設 23%	地域の防災拠点として安全安心な施設 20%

- ・「児童生徒が健全に成長できる施設」は全回答区分で考慮すべきこと
- ・次に考慮すべきことは「地域の防災拠点として安全安心な施設であること」

小学校の1学年あたりの望ましい学級数

区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	学級数を問わない 37%	学級数を問わない 43%	3学級 35%
2	3学級 33%	2学級 30%	2学級 32%



小中学生の保護者（地域別）

区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	3学級 39%	2学級 40%	学級数を問わない 47%
2	学級数を問わない 36%	学級数を問わない 38%	2学級 32%

小学校の1学級あたりの望ましい児童数

区分	小中保護者	教職員
1	20人 61%	20人 82%
2	30人 36%	

※小中学生の保護者（地域別）では差異がない

- 学級数は
保護者は「2～3学級」「学級数を問わない」が多い。
教職員は「2～3学級」が多い。
- 学級あたりの児童数は、「20人程度」が最も望まれている。
(教員の目が行き届く範囲)

中学校の1学年あたりの望ましい学級数

区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	3学級 51%	3学級 44%	3学級 56%
2	学級数は問わない 33%	学級数は問わない 40%	学級数は問わない 28%



小中学生の保護者（地域別）

区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	3学級 59%	3学級 33%	学級数を問わない 39%
2	学級数を問わない 32%	2学級 33%	2学級 38%

中学校の1学級あたりの望ましい生徒数

区分	小中保護者	教職員
1	30人 62%	30人 49%
2	20人 33%	20人 49%



小中学生の保護者（地域別）

区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	30人 67%	30人 54%	20人 59%
2	20人 29%	20人 42%	30人 35%

- 学級数は、「3学級」「学級数を問わない」
- 学級あたりの生徒数は、「30人程度」が最も望まれている。
 保護者：（教員の目が行き届く範囲 < たくさんの友達との交流）
 教職員：（教員の目が行き届く範囲 = たくさんの友達との交流）

小学生の通学時間として許容できる範囲

区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	30分未満 67%	30分未満 60%	30分未満 72%
2	15分未満 23%	15分未満 29%	45分未満 17%

※小中学生の保護者（地域別）での差異はなかった

中学生の通学時間として許容できる範囲

区分	小中保護者	未就学児等保護者	教職員
1	30分未満 68%	30分未満 65%	30分未満 56%
2	45分未満 19%	45分未満 24%	45分未満 34%

※小中学生の保護者（地域別）での差異はなかった

- 小学生の通学時間は 30分未満を許容範囲が一番多い。
- 中学生の通学時間は、30分未満を許容するが、45分未満への許容度が小学生に比べて高い。
- 現在の通学時間に比べて、所感としては遠くに感じている。

通学時間の実態（時間）

区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	30分未満 44%	15分未満 39%	30分未満 41%
2	15分未満 41%	30分未満 38%	15分未満 41%
3	45分未満 12%	45分未満 19%	45分未満 16%

通学時間の実態（距離への所感）

区分	旧今治市	旧町村陸地部	旧町村島しょ部
1	適当である 40%	適当である 39%	適当である 46%
2	近い 22%	やや遠い 23%	やや遠い 22%
3	やや遠い 21%	近い 21%	近い 16%

小中学校の適正配置に 関するアンケート 結果報告書 (速報)

通学区域調整審議会 (第3回) 用

目次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的
2. 調査方法
3. 回答率

第2章 アンケート回答

1. 回答者の属性

- (1) 小中学生の保護者
- (2) 就学前乳幼児の保護者及び妊娠中のご家庭
- (3) 教職員

2. 共通設問

- (1) 児童生徒に最適な教育環境の提供にあたり、配慮すべき事項
- (2) 1学年あたりの望ましい学級数（小学校）
- (3) 1学年あたりの望ましい学級数（中学校）
- (4) 片道の通学時間の許容範囲（小学校）
- (5) 片道の通学時間の許容範囲（中学校）
- (6) 地域住民として学校に求める機能・地域住民から学校に求められる機能

3. 小中学生の保護者と教職員を対象とした設問

- (1) 1学級あたりの望ましい児童数（小学校）
- (2) 1学級あたりの望ましい生徒数（中学校）

4. 小中学生の保護者のみを対象とした設問

- (1) 現在の学校規模や児童生徒数
- (2) 現在の通学時間・距離
- (3) 子どもの学校生活のため住まいや校区を変更した方のみを対象とした設問
・校区変更の時期、変更前の校区、変更理由

5. 就学前乳幼児の保護者及び妊娠中のご家庭のみ対象とした設問

- (1) 子どもの小学校入学に合わせて居住地を変更予定の方のみを対象とした設問
 - ・変更予定の小学校区、変更理由

6. 教職員のみ対象とした設問

- (1) 現在勤務する学校の規模や児童生徒数
- (2) 学校運営上の課題（中規模校）
- (3) 学校運営上の課題（小規模校）

第3章 自由記載回答

【報告書の見方】

- (1) 調査結果の構成比の割合については、小数点第1位を四捨五入し、整数までを表記しています。したがって、数値の合計が100パーセントにならない場合があります。
- (2) 複数選択が可能な設問については、全ての回答数を合計すると回答者数を超える場合があります。
- (3) 本文や数表の選択肢の表記について、場合により語句を簡略化しています。
- (4) 自由記述については、未記入や判読が困難なものなどを除き、原則として回答いただいた内容をそのまま掲載しています。
- (5) 調査結果における太枠・太字箇所は、設問の選択項目のうち最も回答割合が大きい項目となります。

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

今治市教育委員会では、少子化により児童生徒数の減少や学校の小規模化が進んでいる現状を踏まえ、新たな今治市学校適正配置基本方針策定にあたり、今治市の小中学校、児童生徒の将来にわたる長期展望に立って子どもたちにとって「より良い教育環境」「望ましい学校教育の実現」の達成が可能となるよう、より広く考えや意識、思いを把握することを目的とする。

2. 調査方法

調査種別	調査対象	調査方法	回答方法	調査期間
小中学生の保護者	<ul style="list-style-type: none"> 今治市立中学校に在籍する生徒の保護者 今治市立小学校に在籍する児童の保護者 	<ul style="list-style-type: none"> 学校を通じて調査依頼文（紙）を配布 学校ごとのマチコミ（連絡ツール）を通じて周知 市公式LINEにより周知 	Webアンケートとしてオンライン回答	令和6年1月7日（木）～令和6年1月25日（月）
就学前乳幼児の保護者	<ul style="list-style-type: none"> 市内在住の就学前未就学児の保護者 妊娠中のご家庭（母子手帳を配布したご家庭） 	<ul style="list-style-type: none"> 市内にある就学前教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園等）を通じて調査依頼文（紙）を配布 施設ごとにマチコミ（連絡ツール）を通じて周知 市公式LINEにより周知 		
教職員	<ul style="list-style-type: none"> 今治市立小中学校に勤務する教職員 	<ul style="list-style-type: none"> 学校を通じて調査依頼文（紙）を配布 		

- ※1：小中学生の保護者を対象としたアンケート調査名
「今治市立小中学校の適正配置に関するアンケート【小・中学生の保護者向け】」
- ※2：就学前乳幼児の保護者を対象としたアンケート調査名
「今治市立小中学校の適正配置に関するアンケート【就学前乳幼児の保護者向け】」
- ※3：教職員を対象としたアンケート調査名
「今治市立小中学校の適正配置に関するアンケート【教員用】」

3. 回答率

調査種別	回答件数
小中学生の保護者	4,008
就学前乳幼児の保護者	1,016
教職員	765

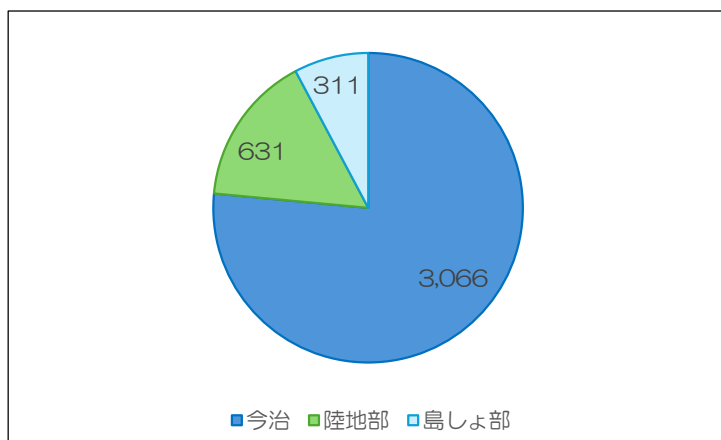
世帯によって子どもの人数、属性（幼・小・中）が異なるため、回答件数を子どもの人数に変換し、調査対象ごとの回答件数としました。

調査対象	子どもの数	回答件数	回答率
小中学生の保護者	9,710	6,025	62.0%
就学前乳幼児の保護者	5,678	2,772	48.8%
教職員	813	765	94.1%

第2章 アンケート回答

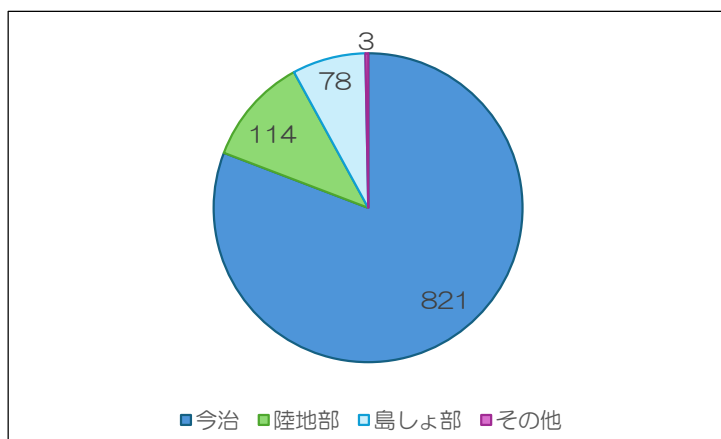
1. 回答者の属性

(1) 小中学生の保護者



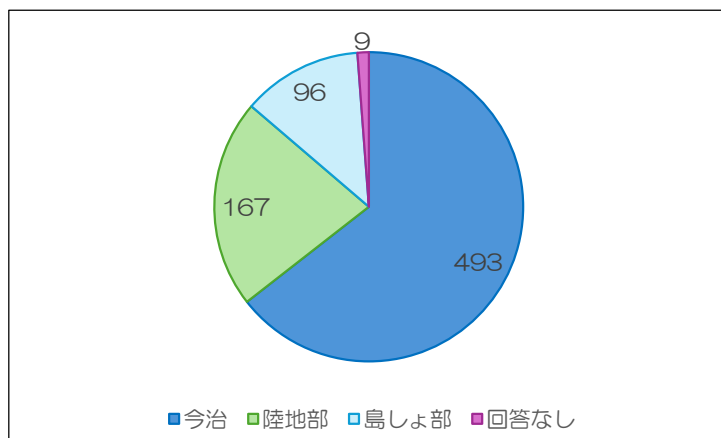
	回答件数
今治	3,066
陸地部	631
島しょ部	311
合計	4,008

(2) 就学前乳幼児の保護者、妊娠中のご家庭



居住地	回答件数
今治	821
陸地部	114
島しょ部	78
その他	3
計	1,016

(3) 教職員



	回答件数
今治	493
陸地部	167
島しょ部	96
回答なし	9
計	765

年代	回答件数
20代	161
30代	129
40代	115
50代	263
60代	95
回答なし	2
	765

勤務先	回答件数
中学校	292
小学校	464
回答なし	9
	765

職種	回答件数
管理職	78
教職員	657
事務職員	29
回答なし	1
	765

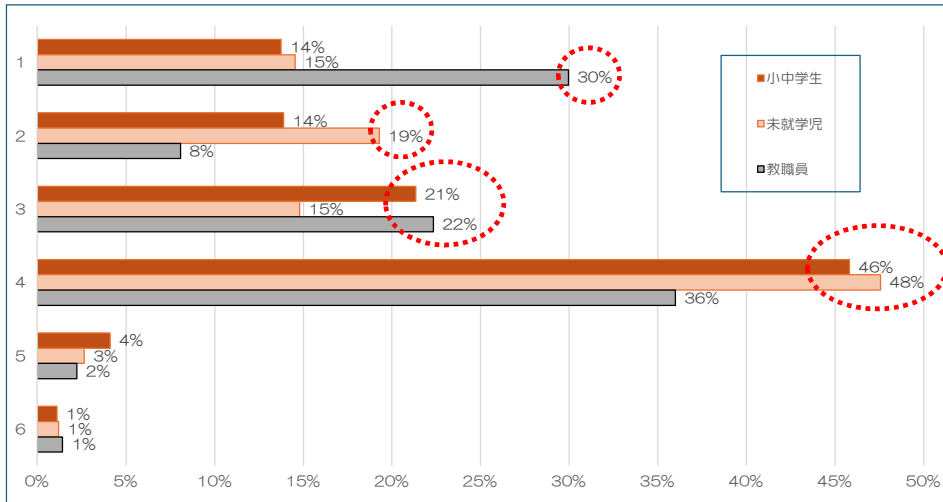
第2章 アンケート回答

2. 共通設問

(1) 児童生徒に最適な教育環境を提供するに当たり、考慮すべきことは何だと思いますか 【2つ選択】

- 回答) 1. 望ましい児童生徒数・学級数
 2. 適切な範囲内での通学距離（時間）
 3. 学力の保障
 4. 安全安心な学校生活
 5. 特色のある学校
 6. その他

※小中学生の保護者、未就学児の保護者、教職員の回答

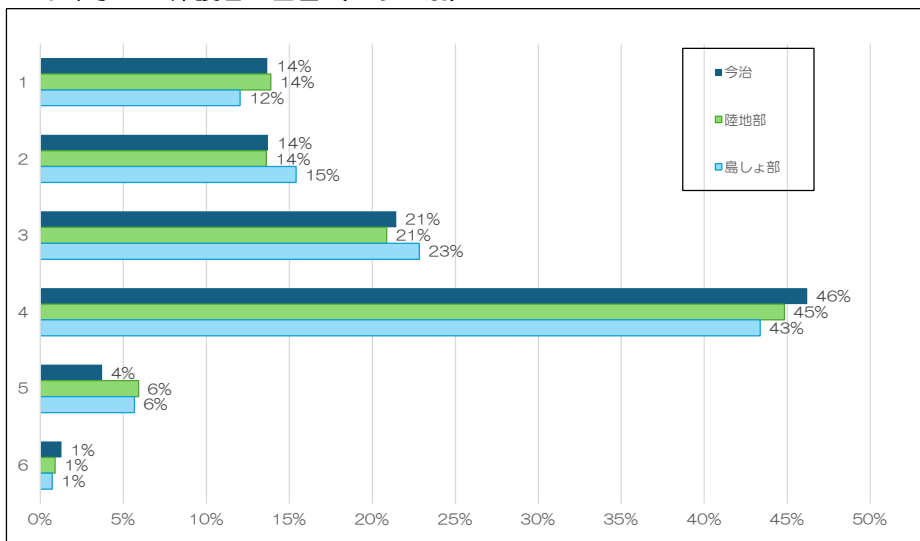


回答	小中学生	未就学児	教職員
1	978	272	431
2	993	362	117
3	1,549	267	329
4	3,294	888	532
5	300	54	29
6	86	25	21

回答	小中学生	未就学児	教職員
1	14%	15%	30%
2	14%	19%	8%
3	21%	15%	22%
4	46%	48%	36%
5	4%	3%	2%
6	1%	1%	1%

総じて「安全安心な学校生活」への配慮を望む
 続いて、教職員は「望ましい児童生徒数・学級
 数」を望む。
 小中保護者は「学力の保障」への配慮を望む。
 未就学児の保護者は、通学距離への配慮を望む。

※小中学生の保護者の回答（エリア別）



回答	今治	陸地部	島しょ部
1	765	157	68
2	767	154	87
3	1,199	236	129
4	2,584	507	245
5	208	67	32
6	71	10	4

回答	今治	陸地部	島しょ部
1	14%	14%	12%
2	14%	14%	15%
3	21%	21%	23%
4	46%	45%	43%
5	4%	6%	6%
6	1%	1%	1%

小中保護者における地域別の差異は見られない。

2. 共通設問

(1) 児童生徒に最適な教育環境を提供するに当たり、考慮すべきことは何だと思えますか 【2つ選択】

- 回答) 1. 望ましい児童生徒数・学級数
2. 適切な範囲内の通学距離(時間)
3. 学力の保障
4. 安全安心な学校生活
5. 特色のある学校
6. その他

その他のご意見

小中学校の保護者のご意見

旧今治市(72件)

- ・教員の資質 14件(教員の適切な対応を含む)
 - ・個性を生かす教育 8件
 - ・家庭ではできない団体行動や人との関わり方を指導する環境 6件
 - ・教員数の充実 4件(部活動の充実を含む)
 - ・多様性に配慮した思いやりのある学校 4件
 - ・教員の余裕 3件(こころのゆとり含む)
 - ・問題行動をする児童への配慮 3件
 - ・信頼感のある関係(教員と子ども、友人間) 3件
 - ・発達障がいへの理解 2件(どんな子でも通いやすい学校含む)
 - ・教員の威厳 1件(きちんと注意できる指導)
 - ・子どもに目が行き届く環境 1件(学級崩壊が起きない環境)
 - ・愛護班が祭りに参加しない学校 1件(地域活動の負担軽減)
 - ・いじめがあっても迅速な対応 1件
 - ・一人一人に居場所のある学校 1件
 - ・勉強と部活の両立 1件
 - ・子ども自身にも学校生活にも選択肢がある環境 1件
 - ・置き教材の許容 1件
 - ・快適な児童クラブ 1件
 - ・障がい、いじめ等個々に対応する柔軟な体制 1件
 - ・クラスへの支援員の配置 1件
 - ・学校、保護者との連携 1件
 - ・子どもたちの健全な学校生活 1件
 - ・学校に通いやすい学校側の対応 1件
 - ・気持ちよく学校生活を送れるクラス運営 1件
 - ・支援学級の先生の対応 1件
 - ・主体的な学習ができる環境 1件
 - ・知的障がいへの理解 1件
 - ・通学路の安全 1件
 - ・校外学習の充実、遠足・社会科見学、修学旅行など体験学習の充実 1件
 - ・学校に行く行かないの選択の自由と、学校へ来ることを強制しないこと 1件
- ・その他 2件

旧町村陸地部（10件）

- 家庭ではできない団体行動や人との関わり方を指導する環境 1件
- 教員が子どもと向き合える環境づくり 2件（教員の職場環境の安定化含む）
- 教員が子どもの人格に配慮する環境 2件
- 教員数の充実 1件
- 発達障がいへの理解 1件
- 不登校児への理解、サポート環境 1件
- やりたい部活動ができる環境 1件
- 不明 1件

旧町村島しょ部（4件）

- 家庭ではできない団体行動や人との関わり方を指導する環境 2件
- 時代に合った教育 1件
- 運動しやすい環境 1件

就学前乳幼児の保護者（25件）

- 教員の資質 5件
- 良いこと、悪いことをしっかり教育できる学校 1件
- 個性を生かす教育 1件
- 教員の労働環境の改善 1件
- 教員も子どもも心に余裕が持てる学校 1件
- 多様性に配慮した思いやりのある学校 1件
- 柔軟な対応 1件
- 障がい児への配慮がある環境 1件（難聴への配慮含む）
- 椅子に座らせない自由な教育環境 1件（着座は体の発達に悪影響）
- 親の資質が安定した環境 1件
- 学校内環境の充実 2件（施設老朽化への対応、トイレ・エアコン等）
- 教員数の充実 1件
- 時代の流れに沿った教育 1件
- 自由自律な校風 1件
- 選択肢の全て 1件
- 不明 1件

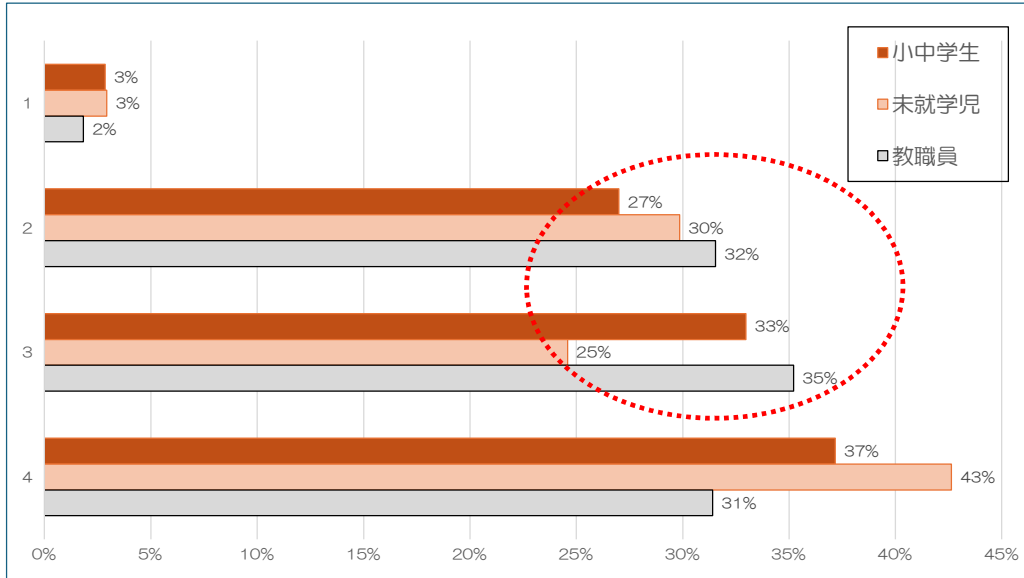
教職員（21件）

- 教職員数の適正配置 13件
- 教職員の業務負担軽減 3件
- 専科教員の配置 2件
- 社会性や道徳性を身に付ける環境 1件
- 学習面でサポートできる教員の増員 1件（学習面で支援を要する子どもが増加）
- 安心できる人間関係（友人・教員） 1件

(2) 小学校の1学年あたりの学級数(クラス数)は、何学級が望ましいと思いますか

- 回答) 1. 1学級
2. 2学級
3. 3学級以上
4. 学級数を問わない

※小中学生の保護者、未就学児の保護者、教職員の回答

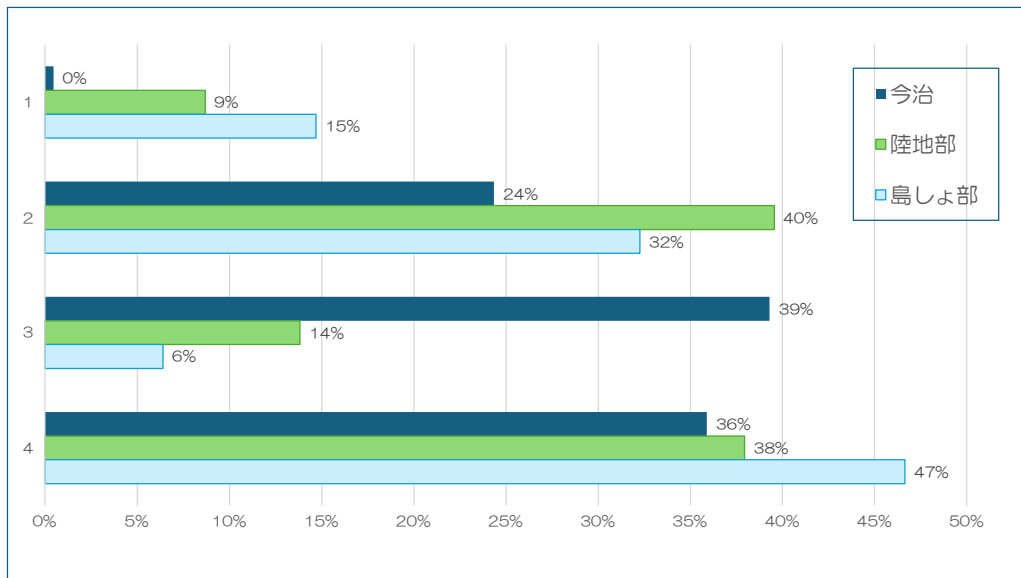


回答	小中学生	未就学児	教職員
1	114	30	14
2	1,081	306	241
3	1,320	252	269
4	1,488	437	240

割合	小中学生	未就学児	教職員
1	3%	3%	2%
2	27%	30%	32%
3	33%	25%	35%
4	37%	43%	31%

学年あたりの学級数として
2～3クラスを望ましいと考えている。

※小中学生の保護者の回答(エリア別)



回答	今治	陸地部	島しょ部
1	14	54	46
2	759	246	101
3	1,225	86	20
4	1,119	236	146

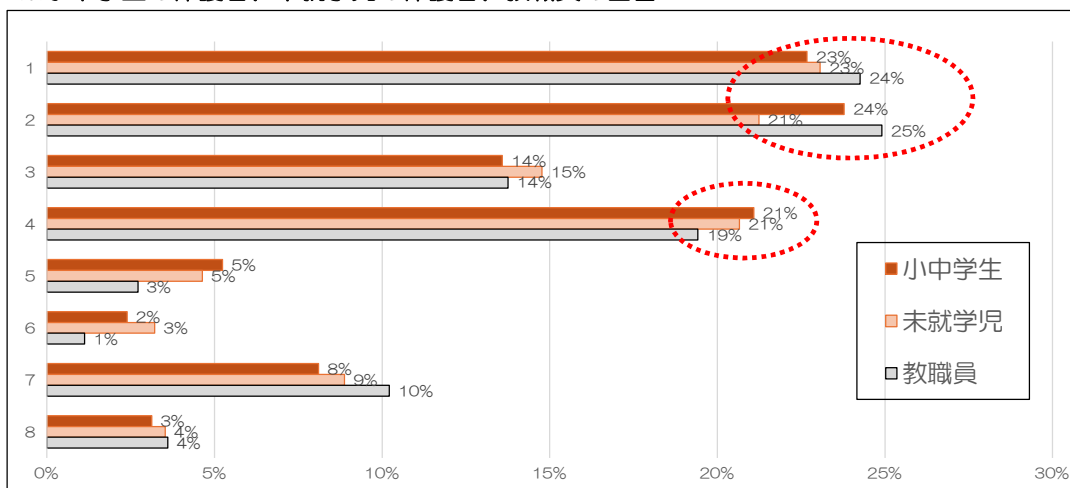
割合	今治	陸地部	島しょ部
1	0%	9%	15%
2	24%	40%	32%
3	39%	14%	6%
4	36%	38%	47%

学年あたりの学級数として
旧今治・陸地部においては2～3クラスを
望ましいと考えている。
島しょ部は、1～2クラスを望ましいと考
えている。

問い) 前の質問(望ましい小学校の学級数)への回答理由を教えてください

- 回答) 1. 様々な個性を持つ友達と触れ合える
 2. クラス替えがあり、たくさんの友達ができる
 3. 運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる
 4. 児童一人一人に目が届き、きめ細かな指導が行われる
 5. 学年を超えた友達ができやすい
 6. 同じ児童ですっと同じクラスで過ごせ、児童同士が親密になれる
 7. 学習活動や学校行事等において、児童一人一人の活躍や登場の機会が多くなる
 8. その他

※小中学生の保護者、未就学児の保護者、教職員の回答

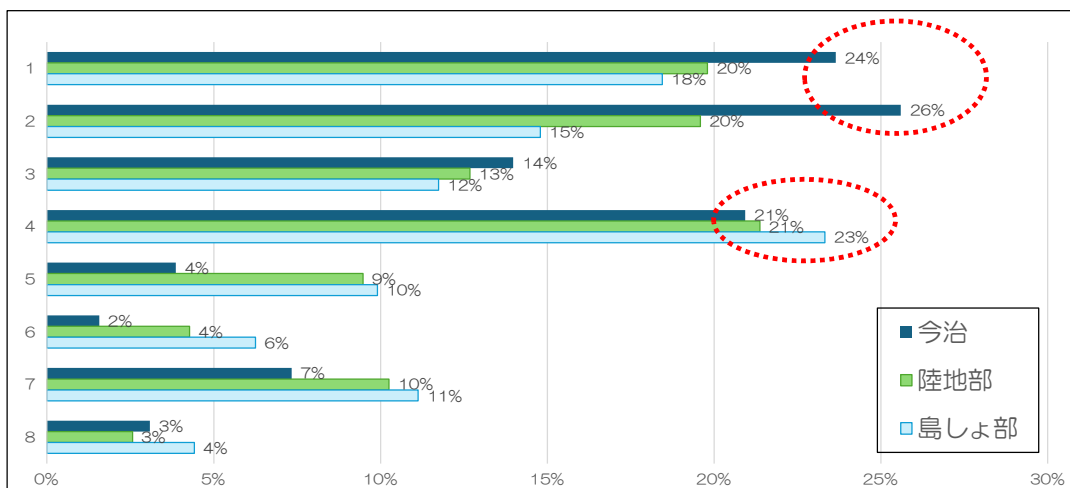


	小中学生	未就学児	教職員
1	1,908	517	411
2	2,001	476	422
3	1,143	331	233
4	1,774	463	329
5	441	104	46
6	201	72	19
7	682	199	173
8	263	79	61

	小中学生	未就学児	教職員
1	23%	23%	24%
2	24%	21%	25%
3	14%	15%	14%
4	21%	21%	19%
5	5%	5%	3%
6	2%	3%	1%
7	8%	9%	10%
8	3%	4%	4%

どの回答区分も「様々な個性を持つ友達と触れ合える」「クラス替えがあり、たくさんの友達ができる」ことを望ましい学級数の理由としている。同様に、「児童一人一人に目が届き、きめ細かな指導が行われる」ことも望んでいる。

※小中学生の保護者の回答(エリア別)



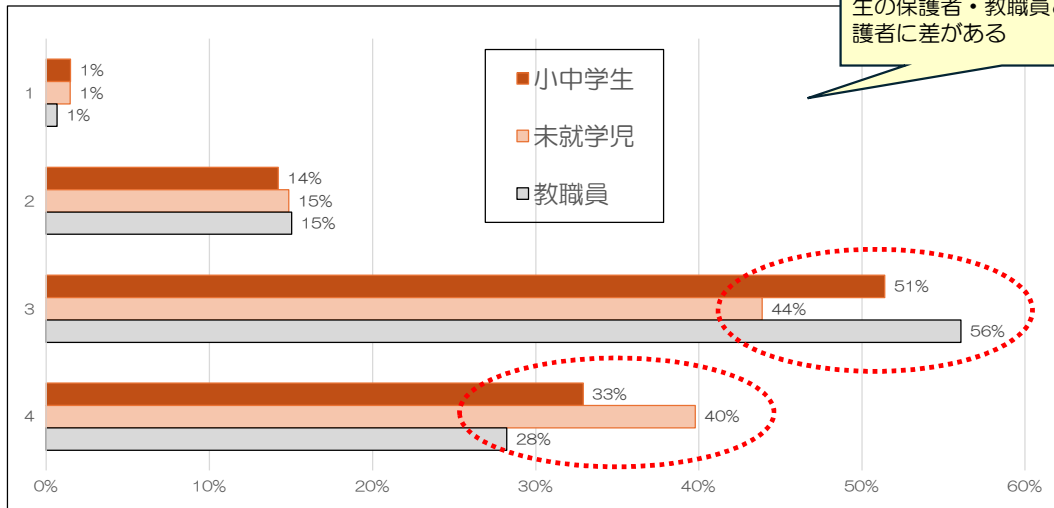
	今治	陸地部	島しょ部
1	1,524	278	121
2	1,650	275	97
3	901	178	77
4	1,349	300	153
5	249	133	65
6	101	60	41
7	473	144	73
8	199	36	29

	今治	陸地部	島しょ部
1	24%	20%	18%
2	26%	20%	15%
3	14%	13%	12%
4	21%	21%	23%
5	4%	9%	10%
6	2%	4%	6%
7	7%	10%	11%
8	3%	3%	4%

望む割合には差異があるが、「クラス替えがあり、たくさんの友達ができる」「様々な個性を持つ友達と触れ合える」、「児童一人一人に目が届き、きめ細かな指導が行われる」の3つが望まれている。人数が多いほど、交流できる環境が望まれている。

問い) 中学校の1学年あたりの学級数(クラス数)は、何学級が望ましいと思いますか

- 回答) 1. 1学級
 2. 2学級
 3. 3学級以上
 4. 学級数を問わない

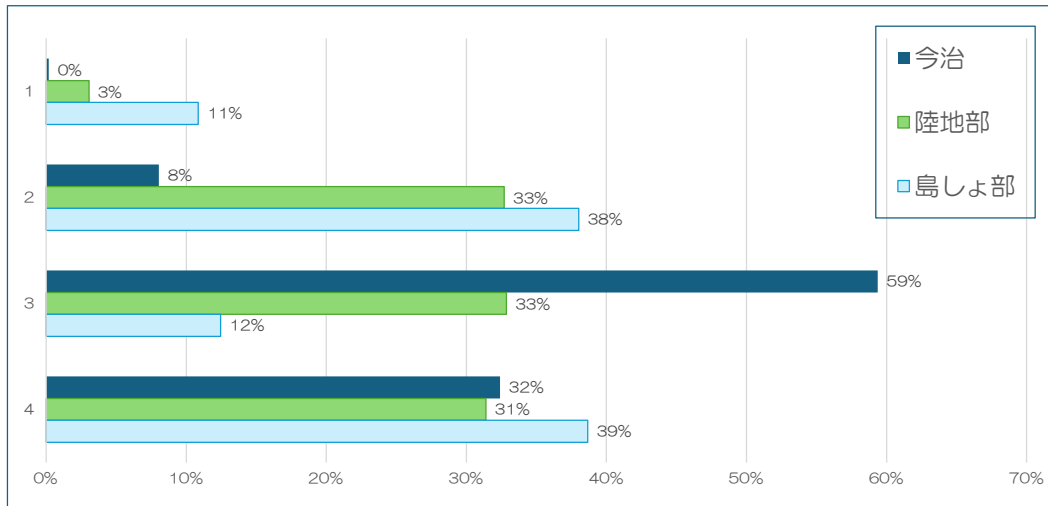


3学級以上を望ましいとする小中学生の保護者・教職員と未就学児の保護者に差がある

回答	小中学生	未就学児	教職員
1	59	15	5
2	567	152	114
3	2,051	449	425
4	1,313	407	214

	小中学生	未就学児	教職員
1	1%	1%	1%
2	14%	15%	15%
3	51%	44%	56%
4	33%	40%	28%

※小中学生の保護者の回答(エリア別)

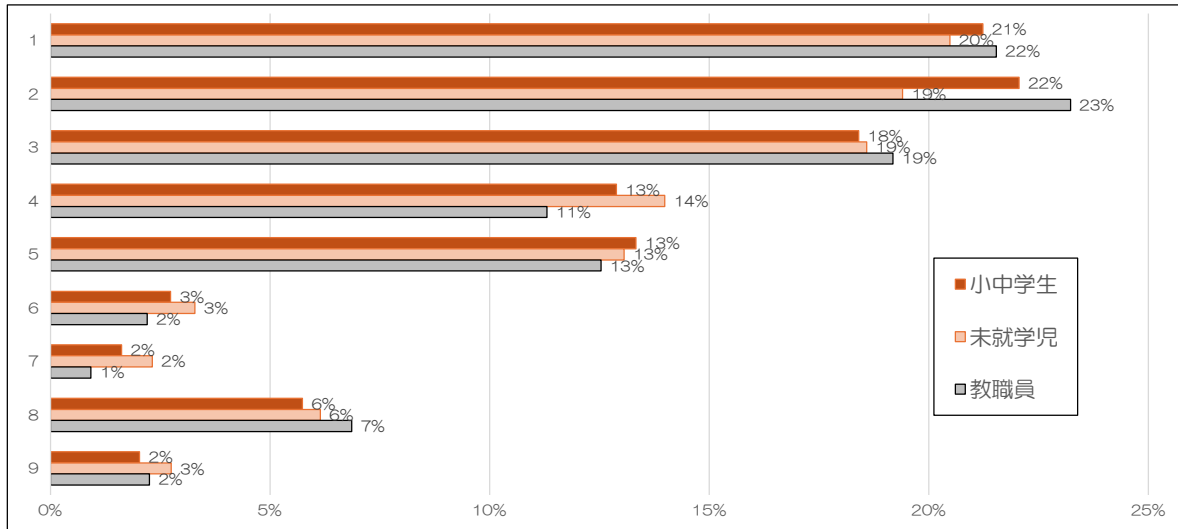


	今治	陸地部	島しょ部
1	6	19	34
2	250	203	119
3	1,843	204	39
4	1,006	195	121

	今治	陸地部	島しょ部
1	0%	3%	11%
2	8%	33%	38%
3	59%	33%	12%
4	32%	31%	39%

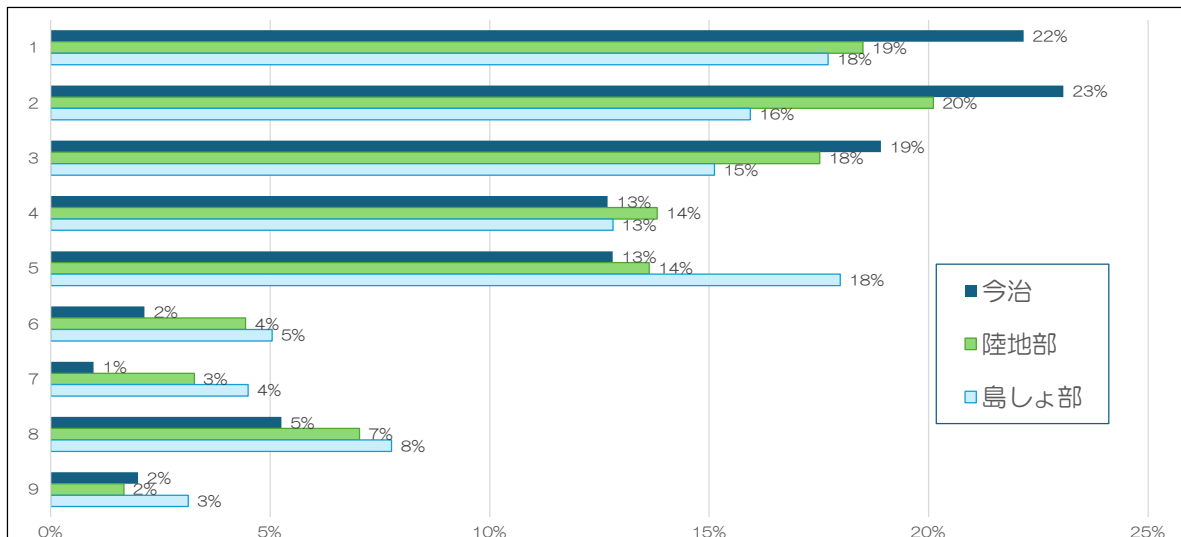
問い) 前の質問への回答理由を教えてください

- 回答) 1. 様々な個性を持つ友達と触れ合える
 2. クラス替えがあり、たくさんの友達ができる
 3. 運動会や文化祭等の学校行事が盛り上がる
 4. 部活動の選択肢が増える
 5. 生徒一人一人に目が届き、きめ細かな指導が行われる
 6. 学年を超えた友達ができやすい
 7. 同じ生徒ですっと同じクラスで過ごせ、生徒同士が親密になれる
 8. 学習活動や学校行事等において、生徒一人一人の活躍や登場の機会が多くなる
 9. その他



	小中学生	未就学児	教職員
1	2,068	530	421
2	2,146	502	454
3	1,790	481	375
4	1,258	362	221
5	1,288	338	245
6	266	85	43
7	159	60	18
8	557	159	134
9	198	71	44

	小中学生	未就学児	教職員
1	21%	20%	22%
2	22%	19%	23%
3	18%	19%	19%
4	13%	14%	11%
5	13%	13%	13%
6	3%	3%	2%
7	2%	2%	1%
8	6%	6%	7%
9	2%	3%	2%

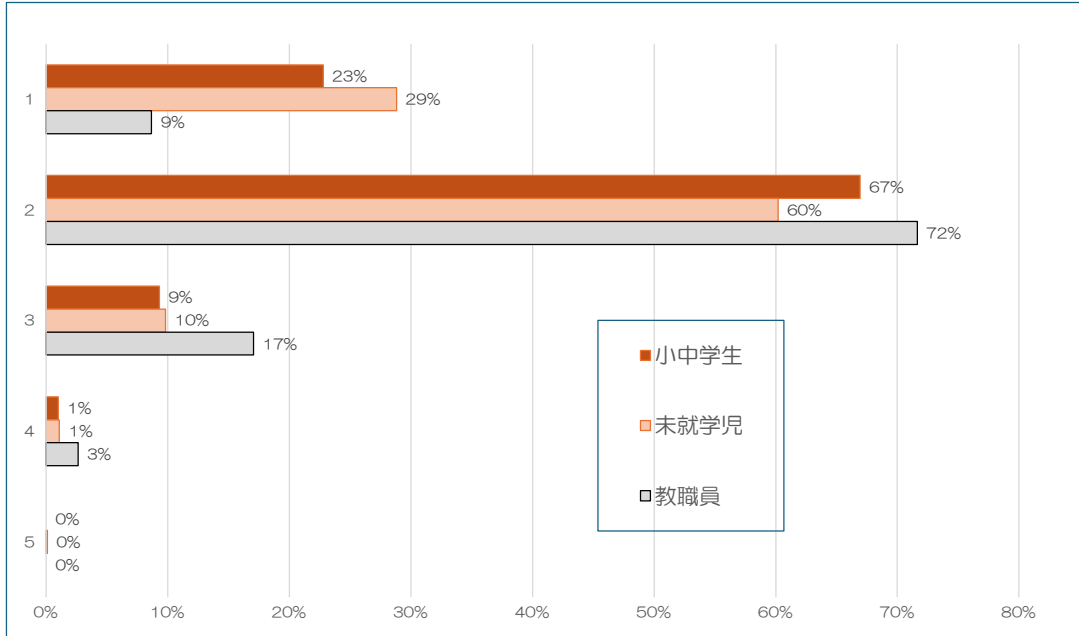


	今治	陸地部	島しょ部
1	1,658	300	130
2	1,726	326	117
3	1,415	284	111
4	949	224	94
5	958	221	132
6	160	72	37
7	73	53	33
8	393	114	57
9	149	27	23

	今治	陸地部	島しょ部
1	22%	19%	18%
2	23%	20%	16%
3	19%	18%	15%
4	13%	14%	13%
5	13%	14%	18%
6	2%	4%	5%
7	1%	3%	4%
8	5%	7%	8%
9	2%	2%	3%

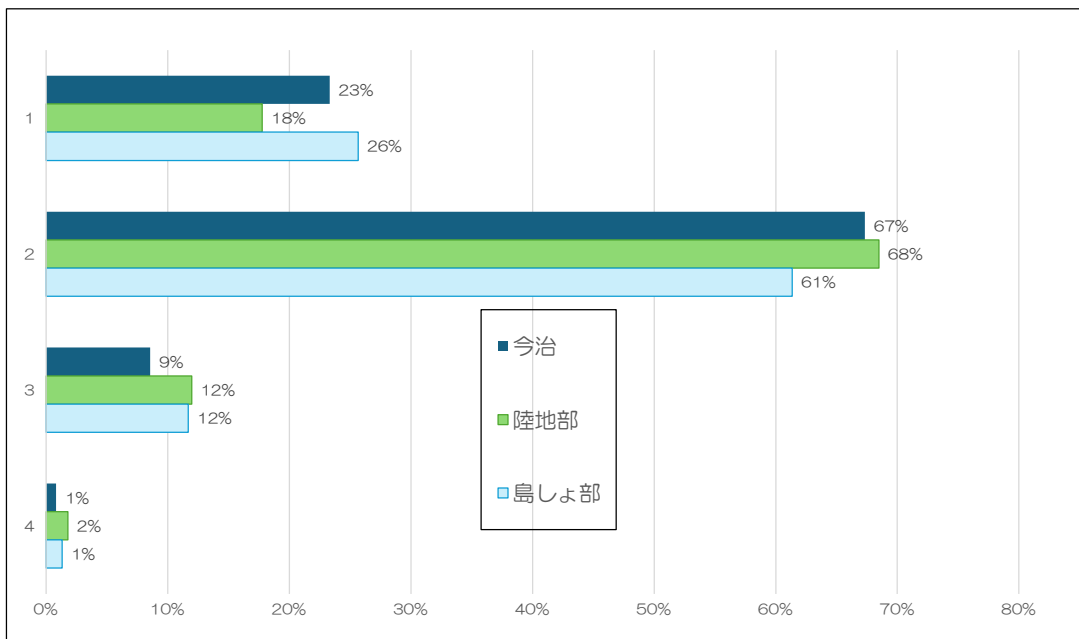
問い) 小学生の通学時間として許容できる範囲はどのくらいですか

- 回答) 1. 15分未満
 2. 15分～30分未満
 3. 30分～45分未満
 4. 45分～1時間未満
 5. 1時間以上



	小中学生	未就学児	教職員
件数			
1	910	294	66
2	2,694	614	546
3	374	100	130
4	40	11	20
5	0	1	0

	小中学生	未就学児	教職員
割合			
1	23%	29%	9%
2	67%	60%	72%
3	9%	10%	17%
4	1%	1%	3%
5	0%	0%	0%

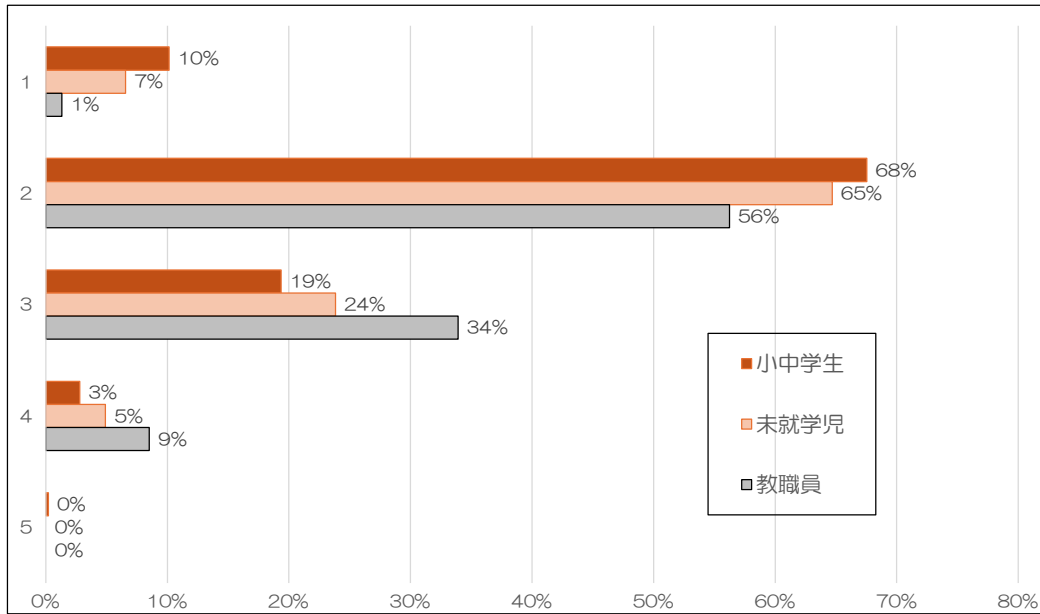


	今治	陸地部	島しょ部
件数			
1	721	110	79
2	2,081	424	189
3	264	74	36
4	25	11	4

	今治	陸地部	島しょ部
割合			
1	23%	18%	26%
2	67%	68%	61%
3	9%	12%	12%
4	1%	2%	1%

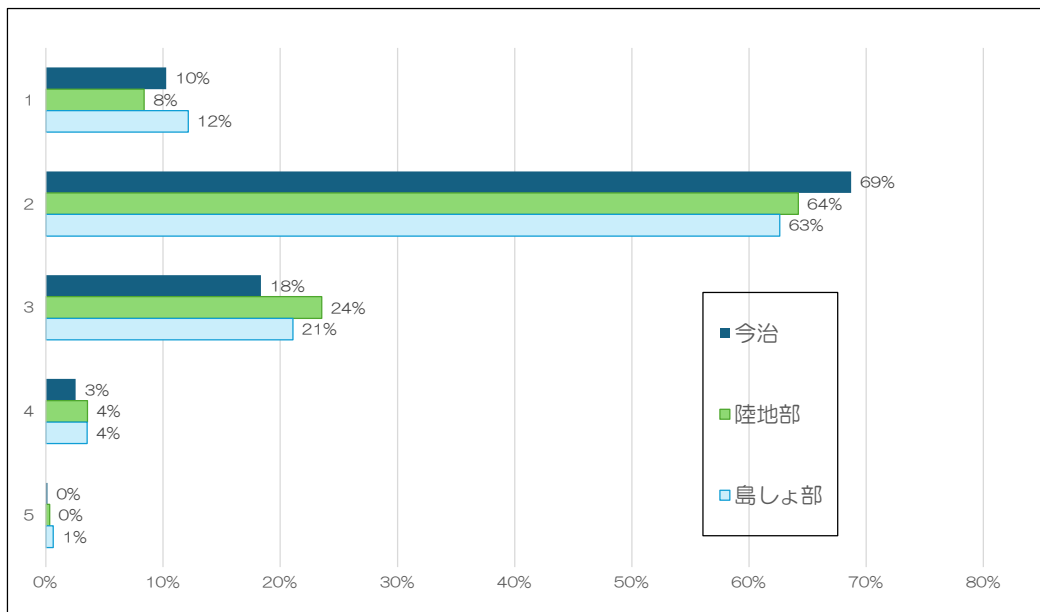
問い) 中学生の通学時間として許容できる範囲はどのくらいですか

- 回答) 1. 15分未満
 2. 15分～30分未満
 3. 30分～45分未満
 4. 45分～1時間未満
 5. 1時間以上



	小中学生	未就学児	教職員
件数	408	67	10
2	2,721	660	423
3	780	243	255
4	112	50	64
5	8	0	0

	小中学生	未就学児	教職員
割合	10%	7%	1%
2	68%	65%	56%
3	19%	24%	34%
4	3%	5%	9%
5	0%	0%	0%



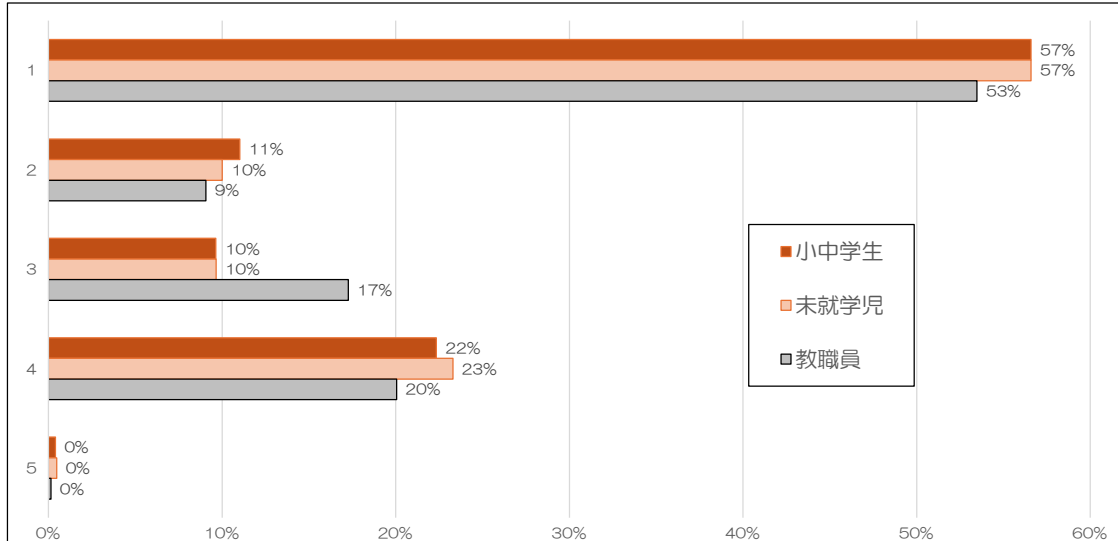
	今治	陸地部	島しょ部
件数	318	52	38
2	2,127	398	196
3	568	146	66
4	79	22	11
5	4	2	2

	今治	陸地部	島しょ部
割合	10%	8%	12%
2	69%	64%	63%
3	18%	24%	21%
4	3%	4%	4%
5	0%	0%	1%

問い) 地域住民として学校に求める機能は何だと思いますか

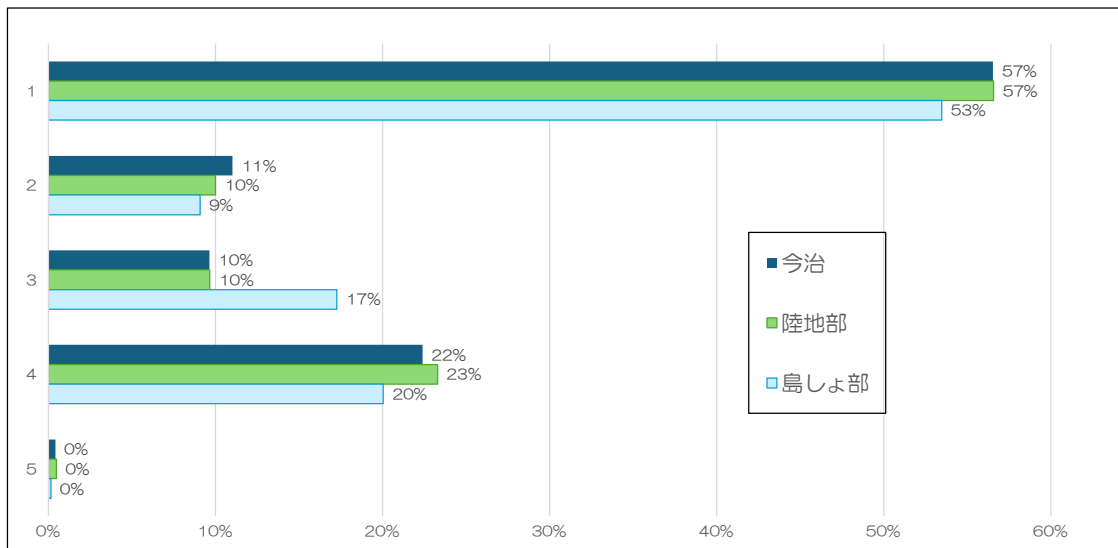
教職員への問い) 地域住民から学校に求められる機能は何だと思いますか

- 回答) 1. 児童生徒が健全に成長できる環境であること
 2. 地域の文化・スポーツ活動の拠点であること
 3. 地域コミュニティ施設としての機能を有すること
 4. 地域の防災拠点として安全安心な施設であること
 5. その他



	小中学生	未就学児	教職員
件数			
1	3,786	967	731
2	737	171	124
3	645	165	236
4	1,495	398	274
5	27	8	2

	小中学生	未就学児	教職員
割合			
1	57%	57%	53%
2	11%	10%	9%
3	10%	10%	17%
4	22%	23%	20%
5	0%	0%	0%



	今治	陸地部	島しょ部
件数			
1	3,786	967	731
2	737	171	124
3	645	165	236
4	1,495	398	274
5	27	8	2

	今治	陸地部	島しょ部
割合			
1	57%	57%	53%
2	11%	10%	9%
3	10%	10%	17%
4	22%	23%	20%
5	0%	0%	0%

問い) 地域住民として学校に求める機能は何だと思いますか

教職員への問い) 地域住民から学校に求められる機能は何だと思いますか

- 回答) 1. 児童生徒が健全に成長できる環境であること
2. 地域の文化・スポーツ活動の拠点であること
3. 地域コミュニティ施設としての機能を有すること
4. 地域の防災拠点として安全安心な施設であること
5. その他

その他のご意見

小中学生の保護者

旧今治市（19件）

- 学力の全体的底上げ（学力保障） 4件
- 通学路の安全確保（治安への不安） 3件
- その子の能力に応じた学力習得の場 2件
- 子どもの成長に関わり見守る場所 2件
- 子どものための施設 2件
- 学校の存在意義は、児童・生徒の学力向上と人としてのマナーを教える事 1件
- 保護者が安心して子どもを預けられる場所 1件
- 集団行動も大事だが、子どもが自分の意見をしっかり持てるようになる場所 1件
- 学校外有識者の登用や地域の学びの場でもあること 1件
- 地域の高齢者との交流の場 1件
- 回答なし 1件

旧陸地部（6件）

- 通学路の安全確保 2件
- 差別やいじめもなく、地域で子どもたちが見守る施設 2件
- 地域文化の拠点 1件
- 回答なし 1件

島しょ部（2件）

- 子どもがいることで、地域が元気になる場所 2件（地域が活性化する場所）

問い) 地域住民として学校に求める機能は何だと思いますか

教職員への問い) 地域住民から学校に求められる機能は何だと思いますか

- 回答) 1. 児童生徒が健全に成長できる環境であること
2. 地域の文化・スポーツ活動の拠点であること
3. 地域コミュニティ施設としての機能を有すること
4. 地域の防災拠点として安全安心な施設であること
5. その他

その他のご意見

就学前乳幼児の保護者、妊娠中のご家庭 (8件)

- 子どもの個性が尊重される場所 2件
- 学力の全体的底上げ(学力保障) 1件
- 社会の一員として活躍できる人材を育て、親に代わり愛情を育てあげられる居場所 1件
- 学ぶ喜びを育む場所 1件
- 選択肢のすべての機能 1件
- 放課後に教室・グラウンドを児童生徒がクラブ活動等に活用できる場所 1件
(児童生徒以外の地域住民に貸し出しすることに抵抗を覚える)
- 回答なし 1件

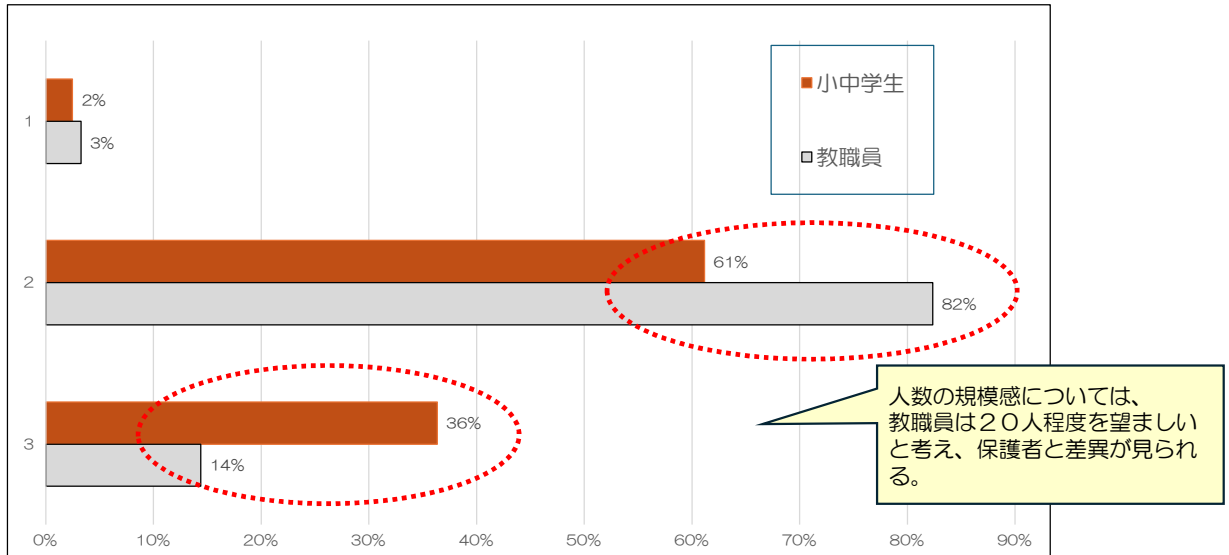
教職員 (2件)

- 子どもがいることで、地域が活性化する場所 2件

3. 小中学生の保護者と教職員を対象とした設問

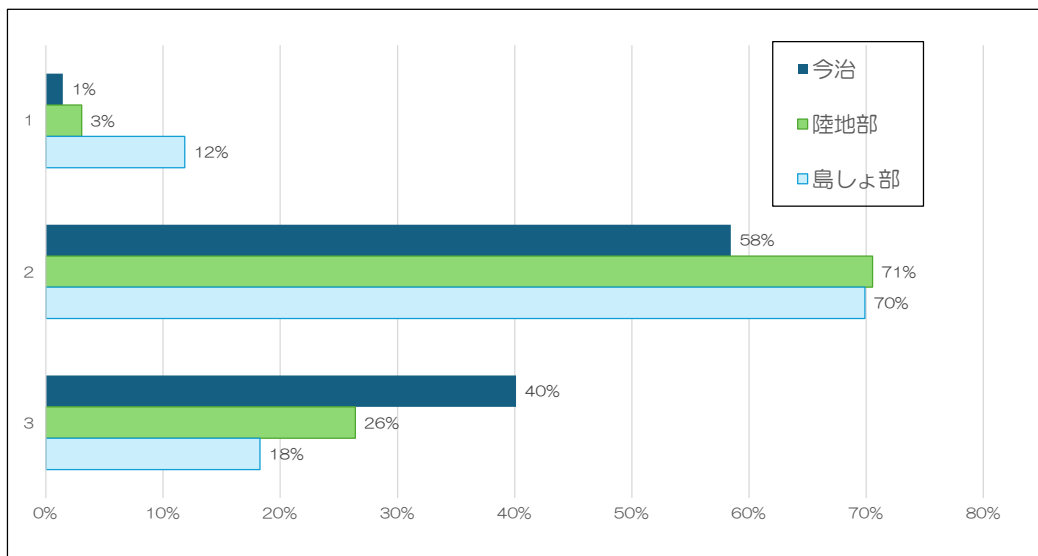
(1) 小学校の1学年あたりの児童数は、何人程度が望ましいと思いますか

- 回答) 1. 10人程度
2. 20人程度
3. 30人程度



	回答	小中学生	教職員
件数	1	101	25
	2	2,472	630
	3	1,468	110

	小中学生	教職員	
割合	1	2%	3%
	2	61%	82%
	3	36%	14%

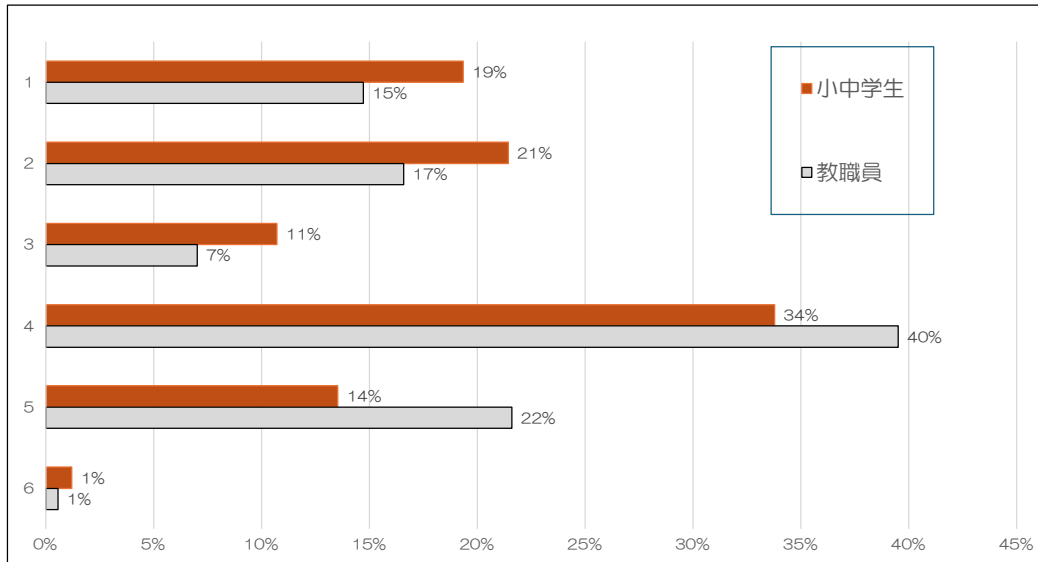


	回答	今治	陸地部	島しょ部
件数	1	45	19	37
	2	1,816	438	218
	3	1,247	164	57

	今治	陸地部	島しょ部	
割合	1	1%	3%	12%
	2	58%	71%	70%
	3	40%	26%	18%

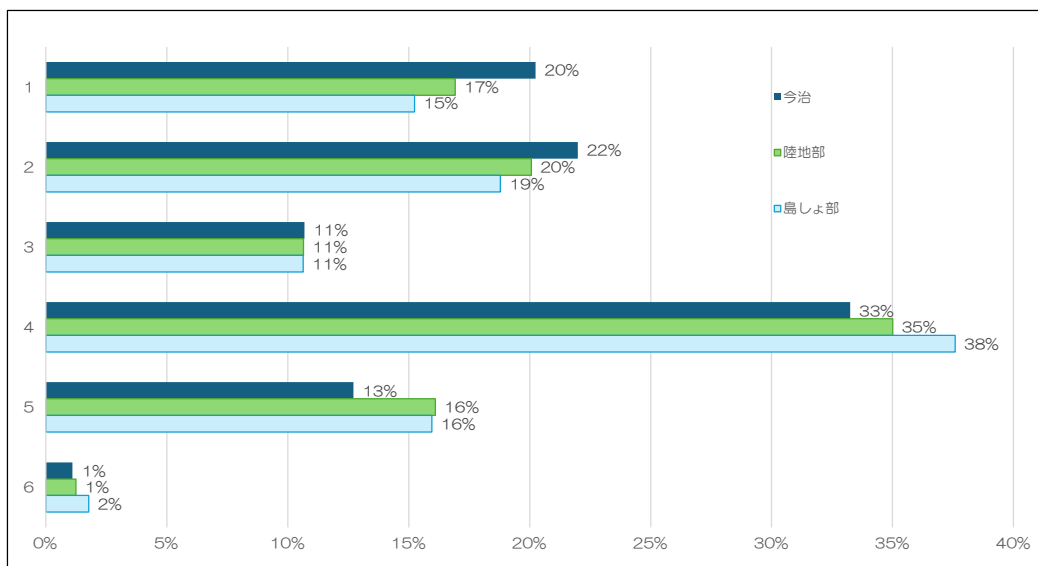
(1) 前の質問への回答理由を教えてください

- 回答) 1. 様々な個性を持つ友達と触れ合える
 2. 協調性を養う機会に恵まれる
 3. 運動会や学習発表会等の学校行事が盛り上がる
 4. 児童一人一人に目が届き、きめ細かな指導が行われる
 5. 学習活動や学校行事等において、児童一人一人の活躍や登場の機会が多くなる
 6. その他



回答	小中学生	教職員
1	1,448	235
2	1,606	265
3	800	112
4	2,536	631
5	1,012	345
6	88	9

割合	小中学生	教職員
1	19%	15%
2	21%	17%
3	11%	7%
4	34%	40%
5	14%	22%
6	1%	1%

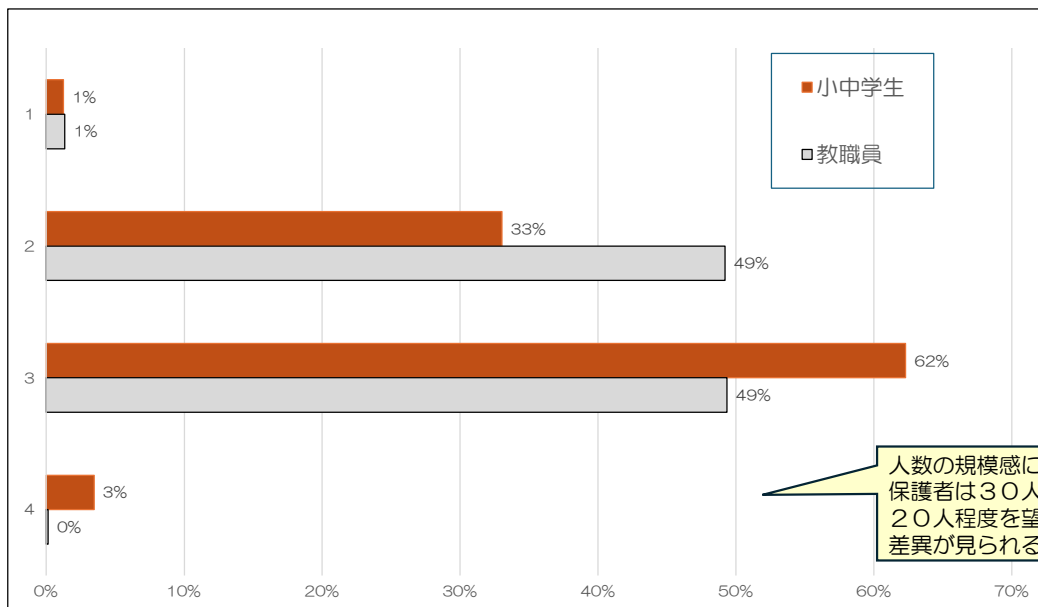


回答	今治	陸地部	島しょ部
1	1,157	205	86
2	1,257	243	106
3	611	129	60
4	1,900	424	212
5	727	195	90
6	63	15	10

割合	今治	陸地部	島しょ部
1	20%	17%	15%
2	22%	20%	19%
3	11%	11%	11%
4	33%	35%	38%
5	13%	16%	16%
6	1%	1%	2%

(2) 中学校の1学級あたりの生徒数は、何人程度が望ましいと思いますか

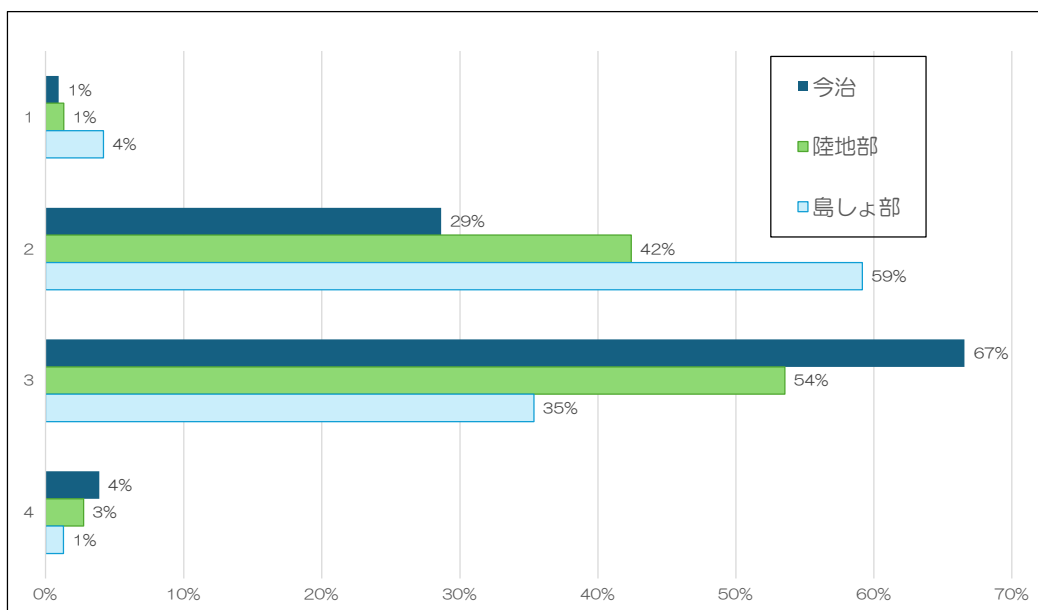
- 回答) 1. 10人程度
2. 20人程度
3. 30人程度
4. 40人程度



人数の規模感については、保護者は30人程度、教職員は20人程度を望ましいと考え、差異が見られる。

回答	小中学生	教職員
1	50	10
2	1,335	371
3	2,506	372
4	141	1

	小中学生	教職員
1	1%	1%
2	33%	49%
3	62%	49%
4	3%	0%

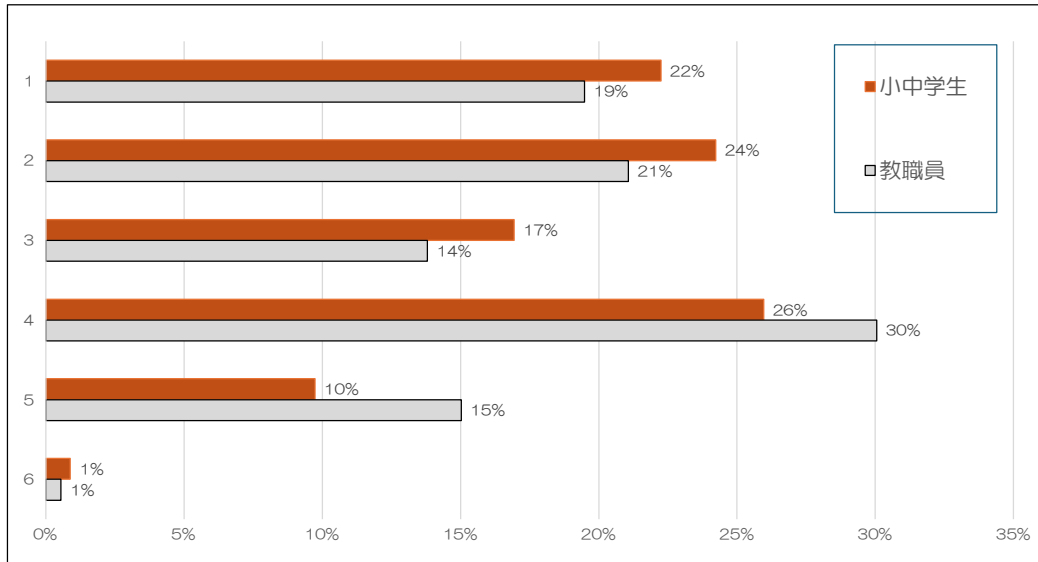


	今治	陸地部	島しょ部
1	29	8	13
2	888	263	184
3	2,064	332	110
4	120	17	4

	今治	陸地部	島しょ部
1	1%	1%	4%
2	29%	42%	59%
3	67%	54%	35%
4	4%	3%	1%

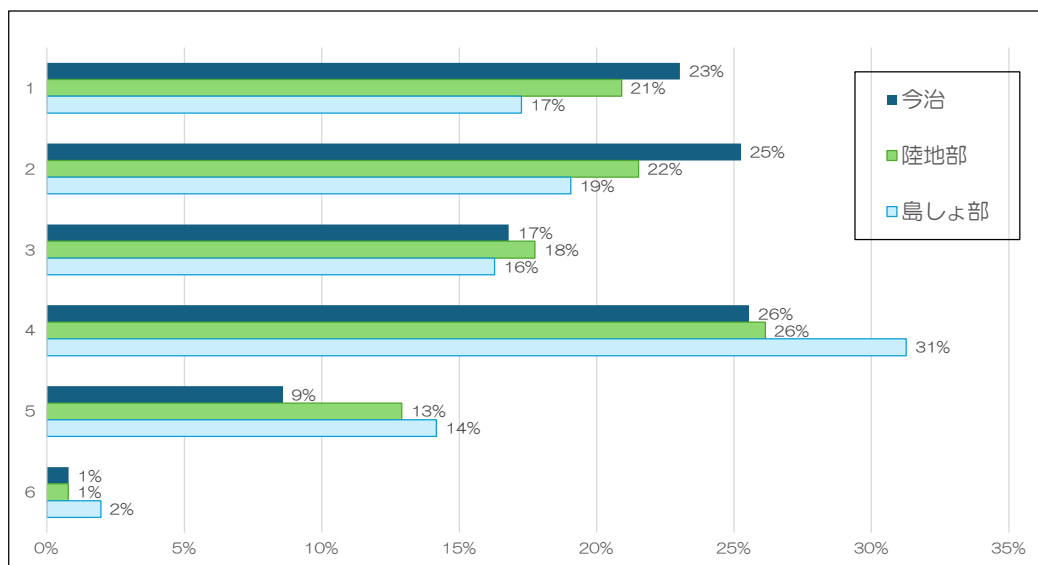
(2) 前の質問への回答理由を教えてください

- 回答) 1. 様々な個性を持つ友達と触れ合える
 2. 協調性を養う機会に恵まれる
 3. 運動会や文化祭等の学校行事が盛り上がる
 4. 生徒一人一人に目が届き、きめ細かな指導が行われる
 5. 学習活動や学校行事等において、生徒一人一人の活躍や登場の機会が多くなる
 6. その他



回答	小中学生	教職員
1	1,782	319
2	1,936	345
3	1,355	226
4	2,089	492
5	778	246
6	70	9

割合	小中学生	教職員
1	22%	19%
2	24%	21%
3	17%	14%
4	26%	30%
5	10%	15%
6	1%	1%



回答	今治	陸地部	島しょ部
1	1,404	272	106
2	1,539	280	117
3	1,024	231	100
4	1,557	340	192
5	523	168	87
6	48	10	12

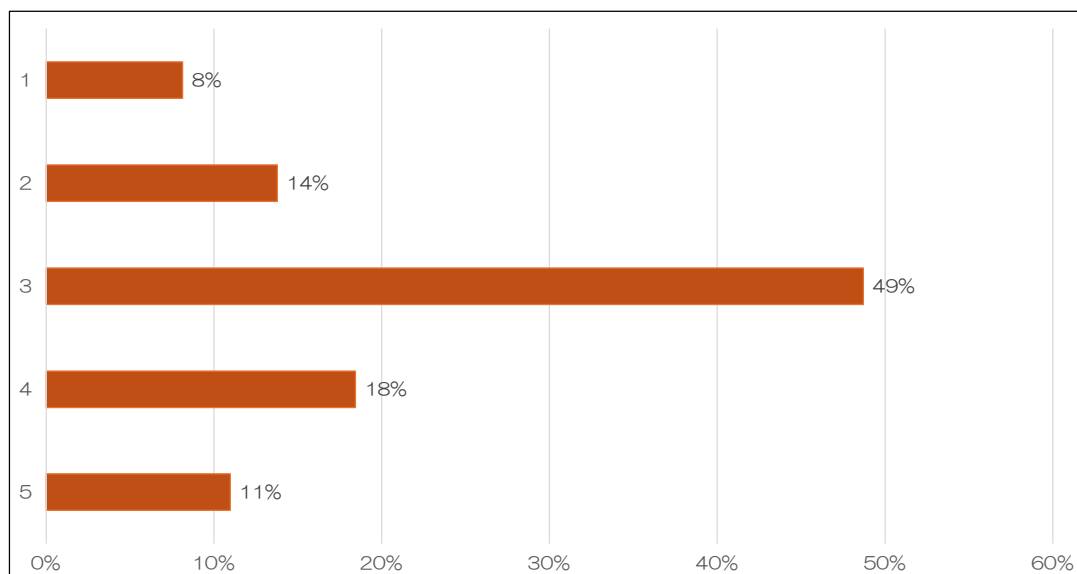
割合	今治	陸地部	島しょ部
1	23%	21%	17%
2	25%	22%	19%
3	17%	18%	16%
4	26%	26%	31%
5	9%	13%	14%
6	1%	1%	2%

4. 小中学生の保護者のみを対象とした設問

(1) 現在の学校規模や児童生徒数

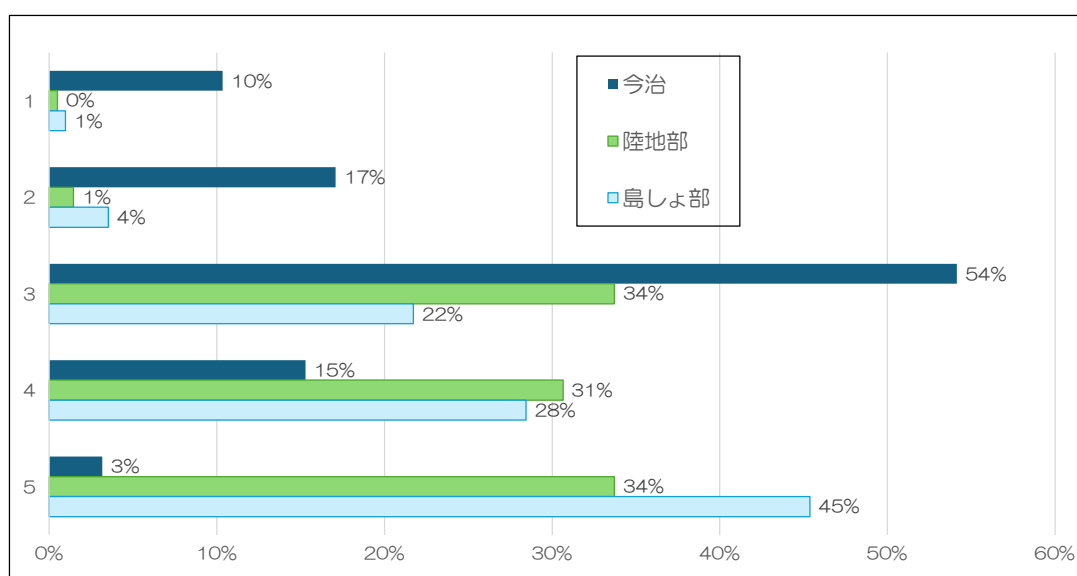
(問い) 現在のお子様に通われている学校の規模や児童生徒数をどう思いますか

- 回答) 1. 大きい (多い)
 2. やや大きい (やや多い)
 3. 適当である
 4. やや小さい (やや少ない)
 5. 小さい (少ない)



	今治	陸地部	島しょ部	合計
件数				
1	321	3	3	327
2	530	9	11	550
3	1,680	209	68	1,957
4	474	190	89	753
5	98	209	142	449

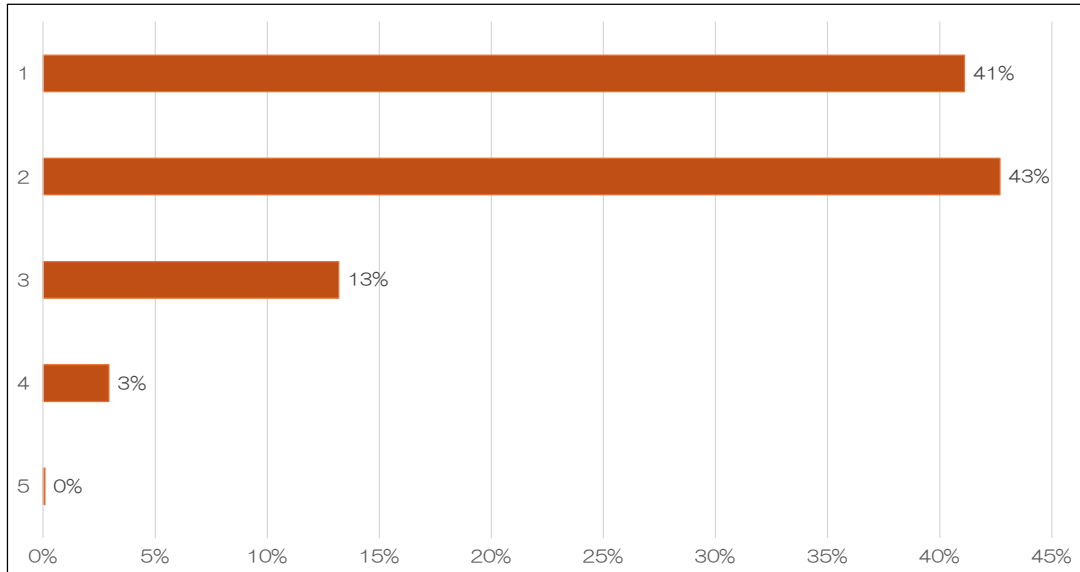
	今治	陸地部	島しょ部	全体
割合				
1	10%	0%	1%	8%
2	17%	1%	4%	14%
3	54%	34%	22%	49%
4	15%	31%	28%	18%
5	3%	34%	45%	11%



(2) 現在の通学時間・距離

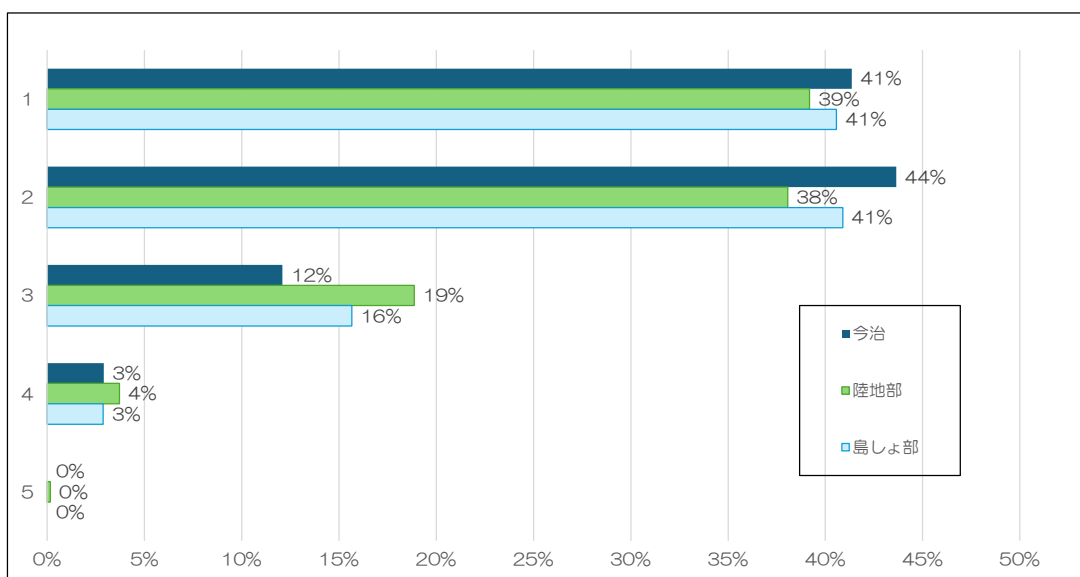
(問い) 現在のお子様の通学時間はどのくらいですか

- 回答) 1. 15分未満
 2. 15分～30分未満
 3. 30分～45分未満
 4. 45分～1時間未満
 5. 1時間以上



	今治	陸地部	島しょ部	合計
件数				
1	1,283	243	127	1,653
2	1,354	236	128	1,718
3	375	117	49	541
4	90	23	9	122
5	0	1	0	1

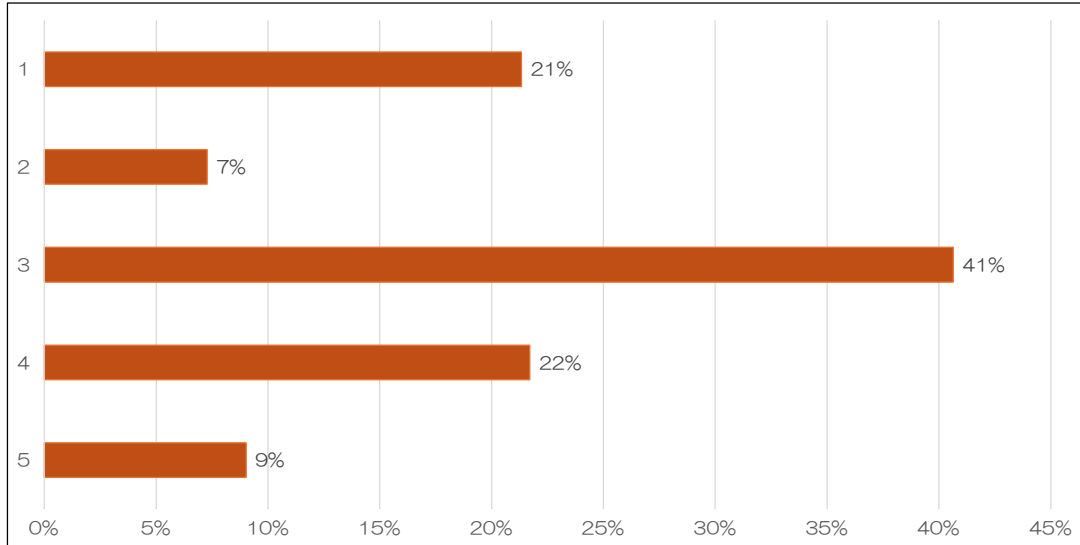
	今治	陸地部	島しょ部	全体
割合				
1	41%	39%	41%	41%
2	44%	38%	41%	43%
3	12%	19%	16%	13%
4	3%	4%	3%	3%
5	0%	0%	0%	0%



(2) 現在の通学時間・距離

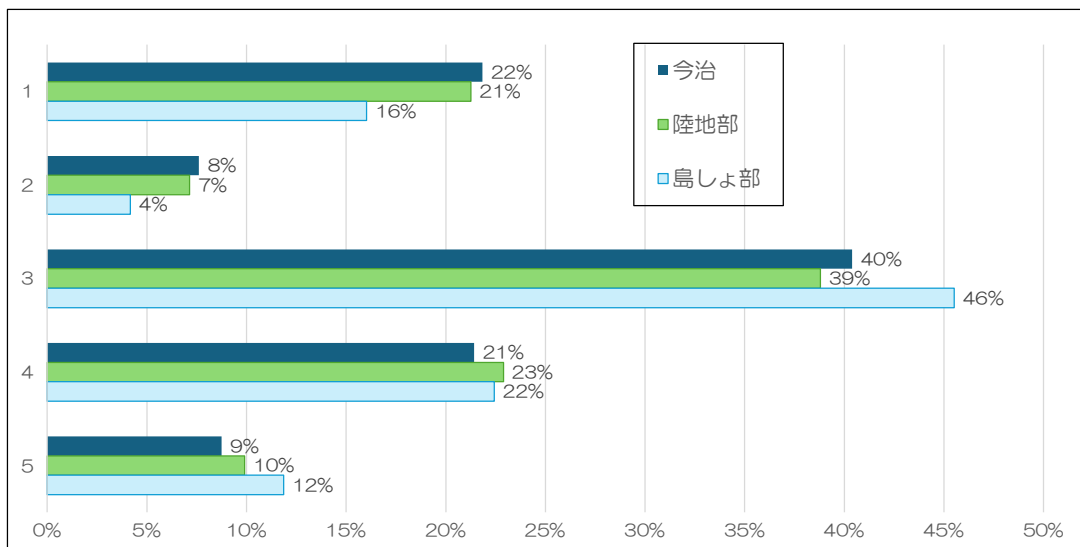
(問い) 現在のお子様の通学距離はどのくらいですか

- 回答) 1. 近い
2. やや近い
3. 適当である
4. やや遠い
5. 遠い



	今治	陸地部	島しょ部	合計
件数				
1	677	131	50	858
2	236	44	13	293
3	1,252	239	142	1,633
4	664	141	70	875
5	271	61	37	369

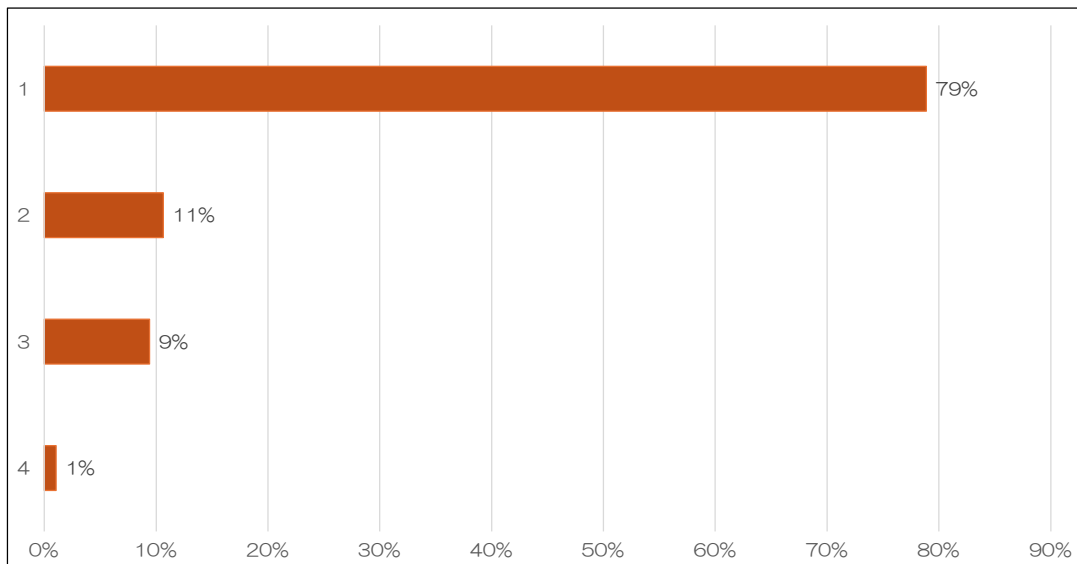
	今治	陸地部	島しょ部	全体
割合				
1	22%	21%	16%	21%
2	8%	7%	4%	7%
3	40%	39%	46%	41%
4	21%	23%	22%	22%
5	9%	10%	12%	9%



(3) 子どもの学校生活のため住まいや校区を変更した方のみを対象とした設問

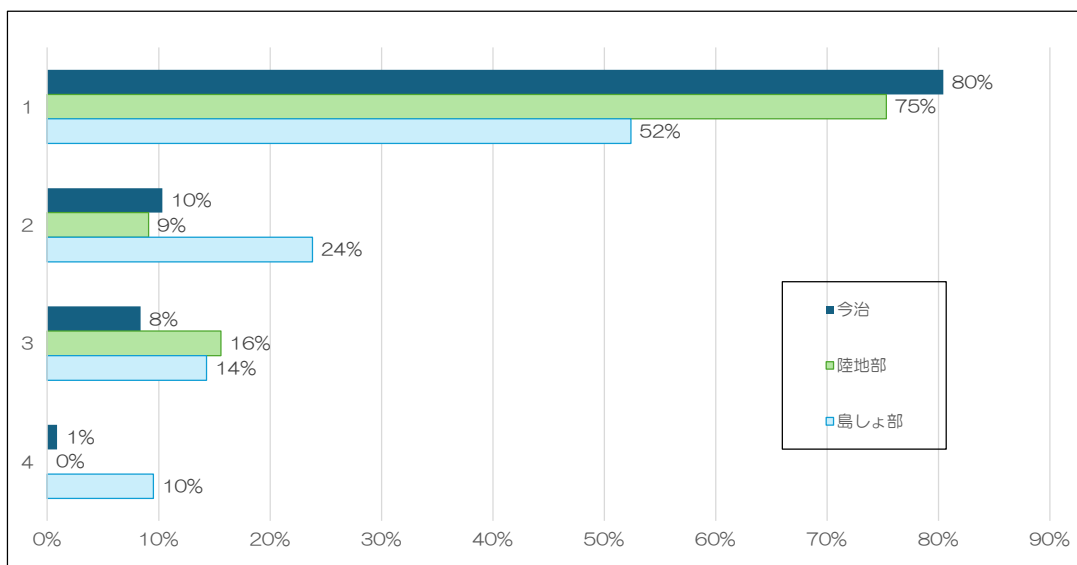
(問い) どのタイミングで変更されましたか

- 回答) 1. 小学校に入学する前
 2. 小学校途中
 3. 中学校に入学する前
 4. 中学校途中



	今治	陸地部	島しょ部	合計
件数 1	452	58	11	521
2	58	7	5	70
3	47	12	3	62
4	5	0	2	7

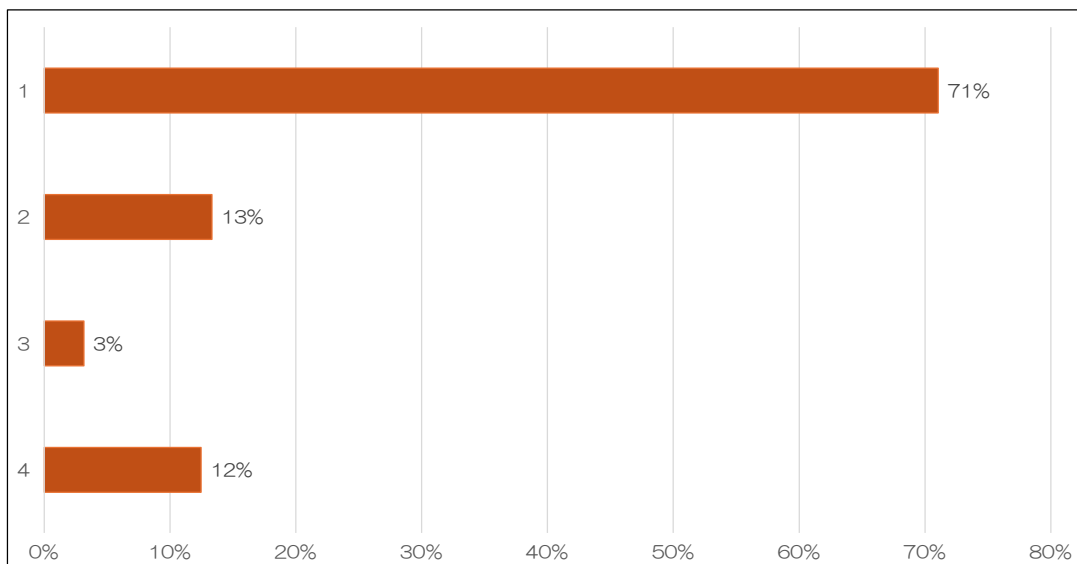
	今治	陸地部	島しょ部	全体
割合 1	80%	75%	52%	79%
2	10%	9%	24%	11%
3	8%	16%	14%	9%
4	1%	0%	10%	1%



(3) 子どもの学校生活のため住まいや校区を変更した方のみを対象とした設問

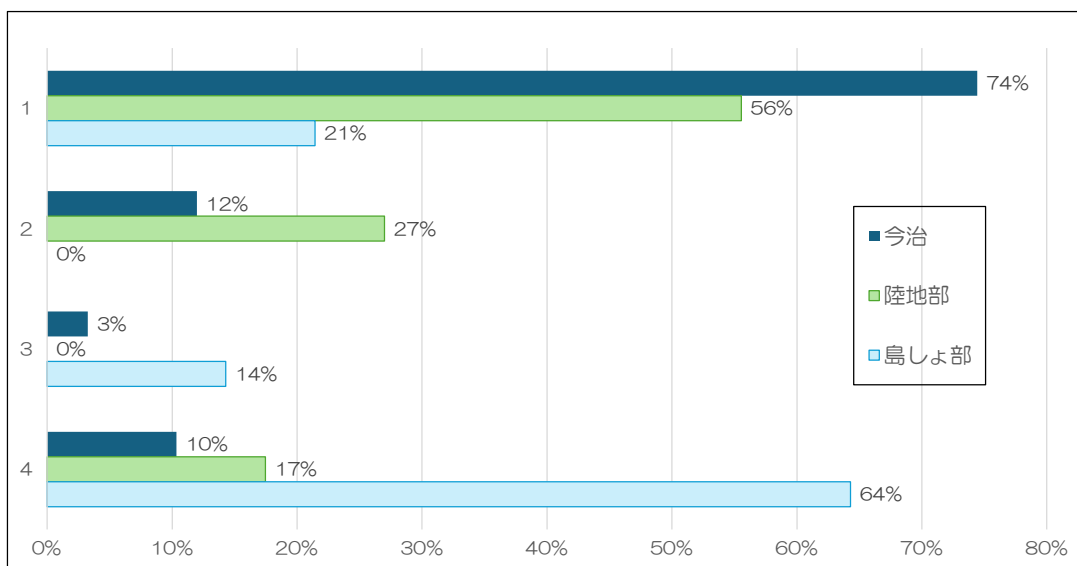
(問い) どちらから変更されましたか (小学校に入学する前、小学校途中)

- 回答) 1. 旧今治市
2. 旧陸地部町村部
3. 島しょ部
4. その他



	今治	陸地部	島しょ部	合計
1	367	35	3	405
2	59	17	0	76
3	16	0	2	18
4	51	11	9	71

	今治	陸地部	島しょ部	全体
1	74%	56%	21%	71%
2	12%	27%	0%	13%
3	3%	0%	14%	3%
4	10%	17%	64%	12%



その他のご意見 (75件)

旧今治市 (51件)

- ・県外から 22件
- ・市外から 17件 (松山市 7件、西条市 3件)
- ・市内 8件 (校区内 2件)
- ・回答なし 4件

陸地部 (11件)

- ・県外から 2件
- ・市外から 7件 (松山市 5件、西条市 2件)
- ・回答なし 2件

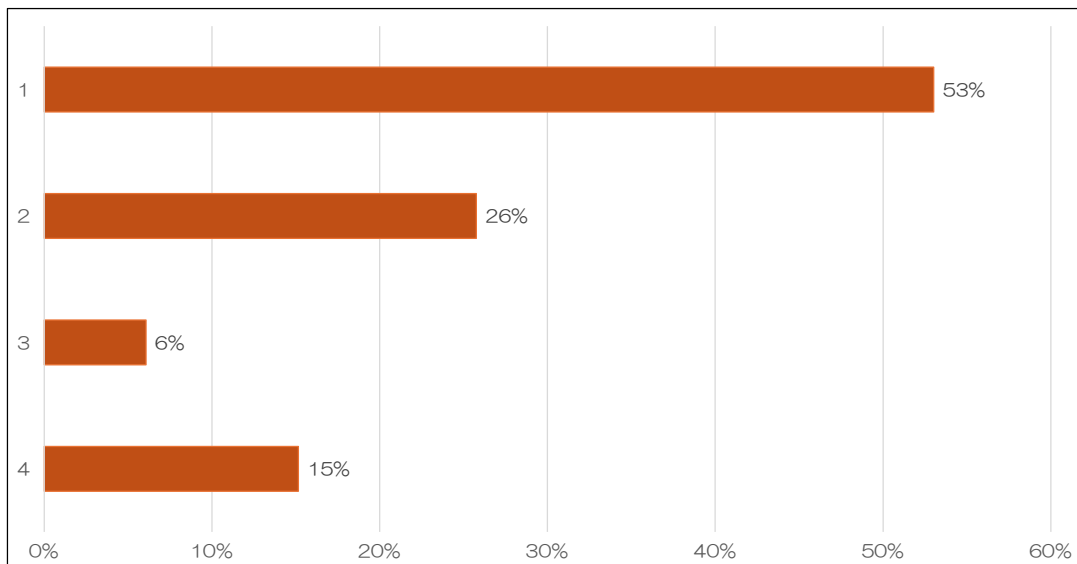
島しょ部 (9件)

- ・県外から 6件
- ・市外から 1件 (松山市 1件)
- ・市内 1件
- ・回答なし 1件

(3) 子どもの学校生活のため住まいや校区を変更した方のみを対象とした設問

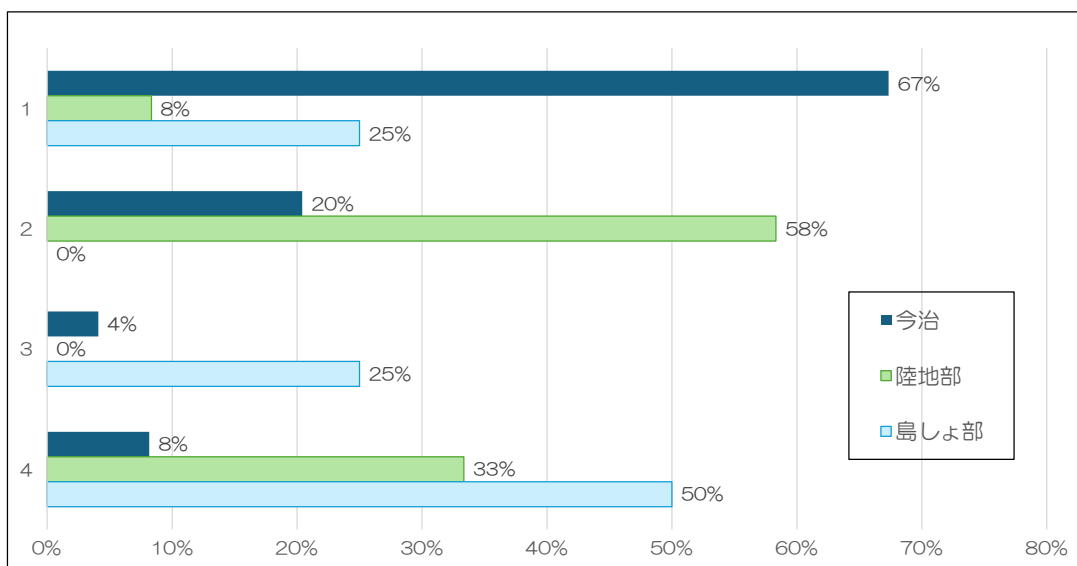
(問い) どちらから変更されましたか(中学校に進学する前、中学校途中)

- 回答) 1. 旧今治市
2. 旧陸地部町村部
3. 島しょ部
4. その他



	今治	陸地部	島しょ部	合計
1	33	1	1	35
2	10	7	0	17
3	2	0	1	3
4	4	4	2	10

	今治	陸地部	島しょ部	全体
1	67%	8%	25%	53%
2	20%	58%	0%	26%
3	4%	0%	25%	6%
4	8%	33%	50%	15%



その他のご意見 (14件)

旧今治市 (4件)

- ・県外から 1件
- ・市外から 1件
- (松山市 1件)
- ・市内 1件
- ・回答なし 1件

陸地部 (4件)

- ・県外 1件
- ・市外 2件
- ・JFA関連 1件

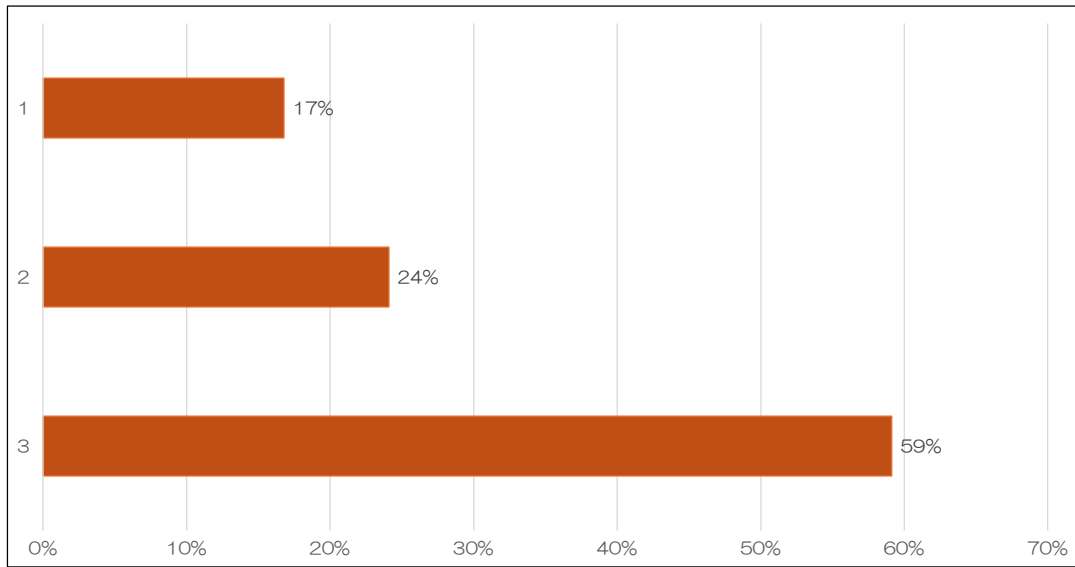
島しょ部 (2件)

- ・県外 2件

(3) 子どもの学校生活のため住まいや校区を変更した方のみを対象とした設問

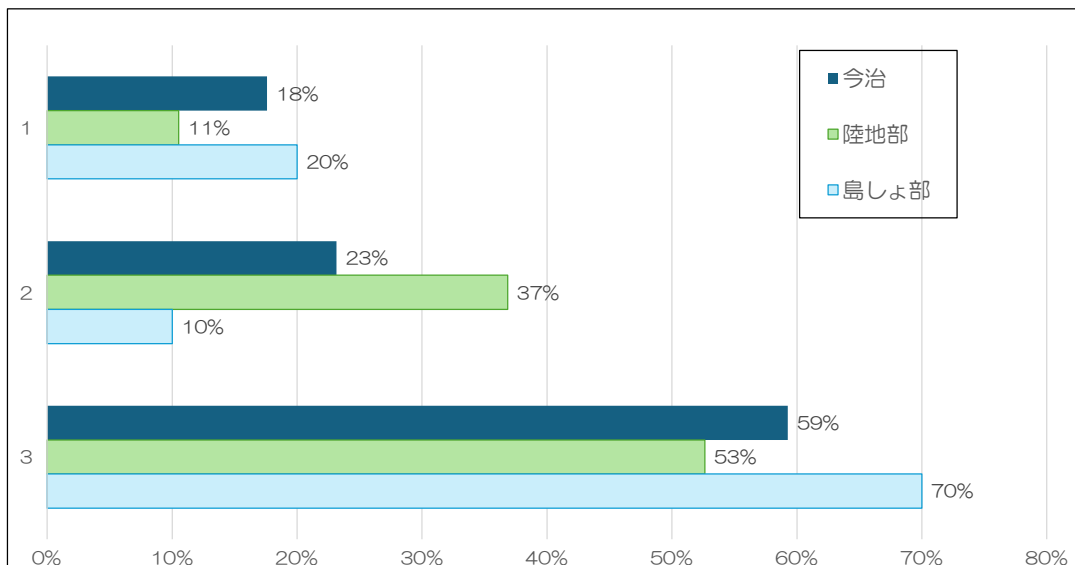
(問い) 変更理由は何ですか

- 回答) 1. 人間関係
2. 部活動のため
3. その他



回答	今治	陸地部	島しょ部	合計
1	19	2	2	23
2	25	7	1	33
3	64	10	7	81

	今治	陸地部	島しょ部	全体
割合	18%	11%	20%	17%
	23%	37%	10%	24%
	59%	53%	70%	59%



4. 小中学生の保護者のみを対象とした設問

(3) 子どもの学校生活のため住まいや校区を変更した方のみを対象とした設問

(問い) 変更理由は何ですか

- 回答) 1. 人間関係
2. 部活動のため
3. その他

旧今治市 (64件)

・家庭の都合	23件
・転居	18件 (うち持ち家 9件)
・転勤	10件
・学習環境	5件 (東中等学校への進学を予定 1件)
・小学校の学区への進学のため	2件
・通学距離	2件
・指定校に魅力を感じない	1件
・中学校の部活動、高校進学を見越して	1件
・生徒数の多い学校への進学	1件
・回答なし	1件

旧陸地部町村 (10件)

・家庭の都合	3件
・JFAアカデミー	3件
・転居	2件 (うち持ち家 1件)
・転勤	1件
・学習環境	1件

島しょ部 (8件)

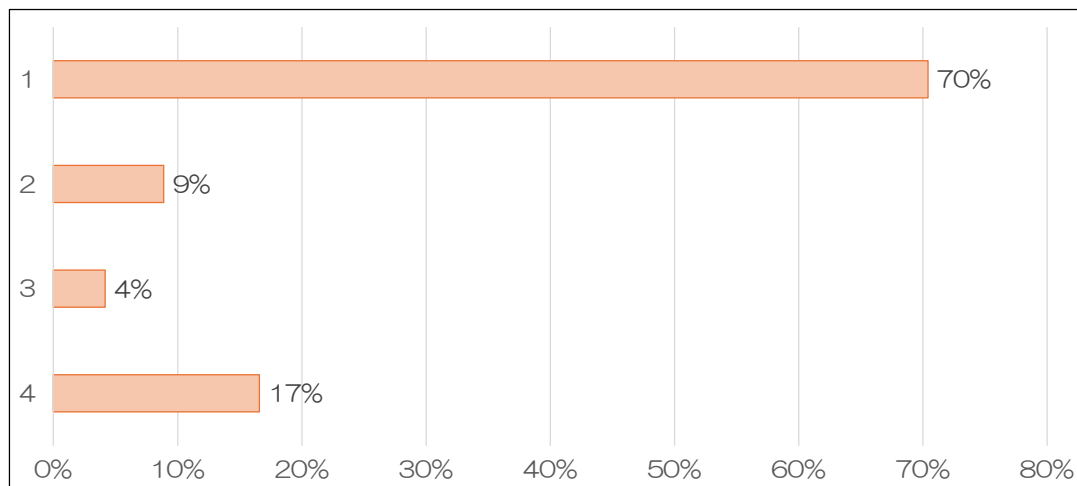
・子育て環境を求めて	3件
・家庭の都合	2件
・転居	1件
・通学距離の近い場所への変更	1件

5. 就学前乳幼児の保護者、妊娠中のご家庭のみを対象とした設問

(1) 子どもの学校生活のため住まいや校区を変更予定の方のみを対象とした設問

(問い) 変更予定の小校区はどこですか

- 回答) 1. 旧今治市
2. 旧陸地部町村部
3. 島しょ部
4. その他



その他のご意見 (28件)

- ・市外 (松山市) 10件 (松山市 8件含む)
- ・転勤が見込まれる 4件
- ・県外 2件
- ・未定 2件
- ・選択誤り 10件

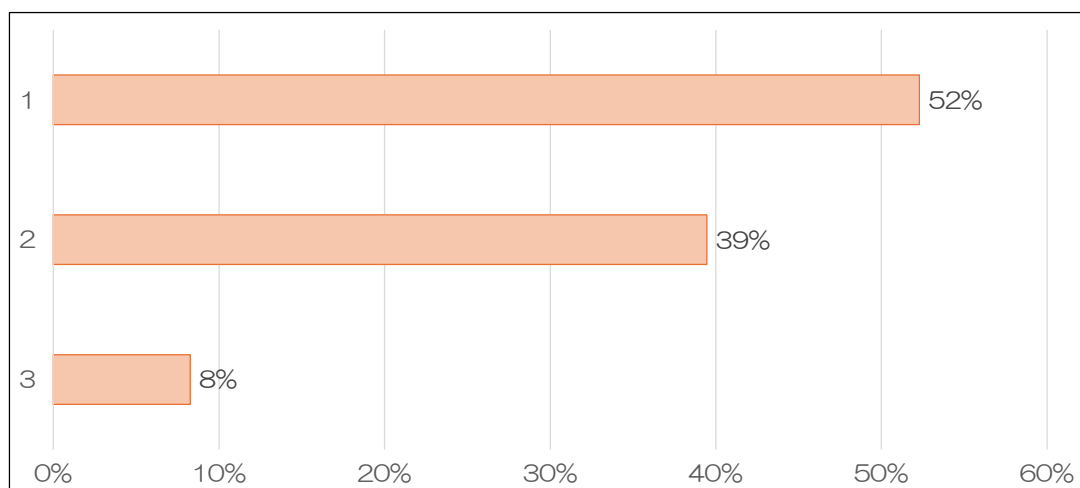
	件数	割合
1	119	70%
2	15	9%
3	7	4%
4	28	17%

5. 就学前乳幼児の保護者、妊娠中のご家庭のみを対象とした設問

(1) 子どもの学校生活のため住まいや校区を変更予定の方のみを対象とした設問

(問い) 前の質問への回答理由を教えてください

- 回答) 1. 転居のため
2. 教育環境のため
3. その他



	件数	割合
1	57	52%
2	43	39%
3	9	8%

その他のご意見 (28件)

旧今治市内への変更予定

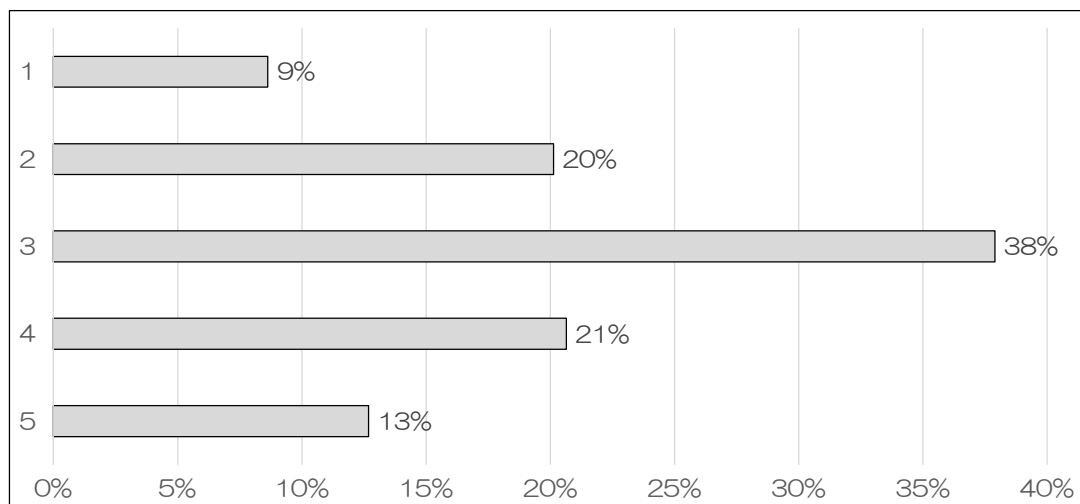
- 通学距離が近い場所 4件
- 実家が近い 1件
- 転居のため(新居) 1件
- 地域性がいいから 1件
- 幼稚園の友達と一緒に過ごす 1件

6. 教職員のみ対象とした設問

(1) 現在勤務する学校の規模や児童生徒数

(問い) 現在、勤務されている学校の規模や児童生徒数はどう思いますか

- 回答) 1. 大きい (多い)
2. やや大きい (やや多い)
3. 適当である
4. やや小さい (やや少ない)
5. 小さい (少ない)

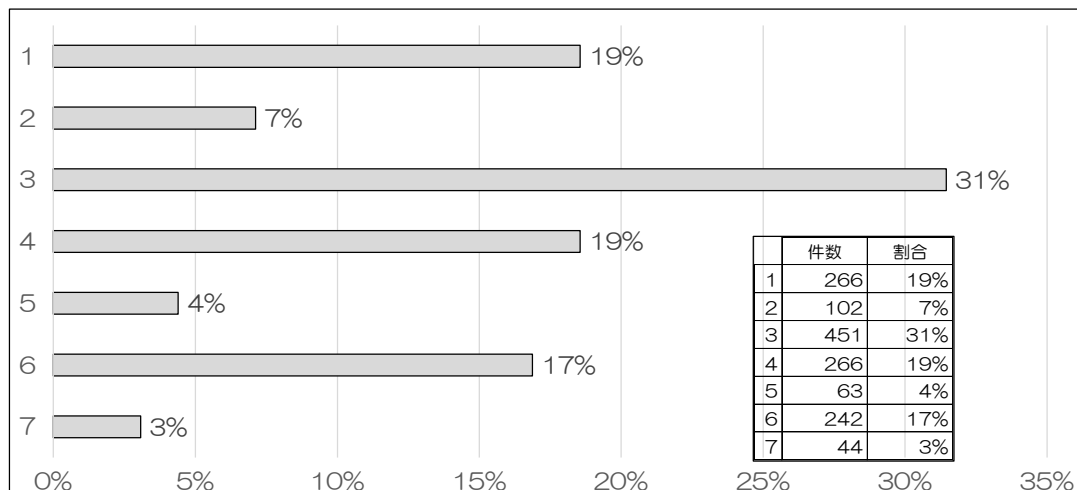


	件数	割合
1	66	9%
2	154	20%
3	290	38%
4	158	21%
5	97	13%

(2) 学校運営上の課題（中規模校）

(問い) 中規模校の運営上の課題は何だと思いますか

- 回答) 1. 複数の教員による子どもたちの多面的な評価が困難
 2. 教員間で切磋琢磨する環境を作りにくく、人材育成に支障をきたす
 3. 教員一人当たりの公務負担や、学校行事に関する負担が大きい
 4. 習熟度別など、多様な学習形態をとりにくい
 5. PTA活動などで、保護者一人当たりの負担が大きい
 6. 部活動の維持、指導者の確保が困難
 7. その他



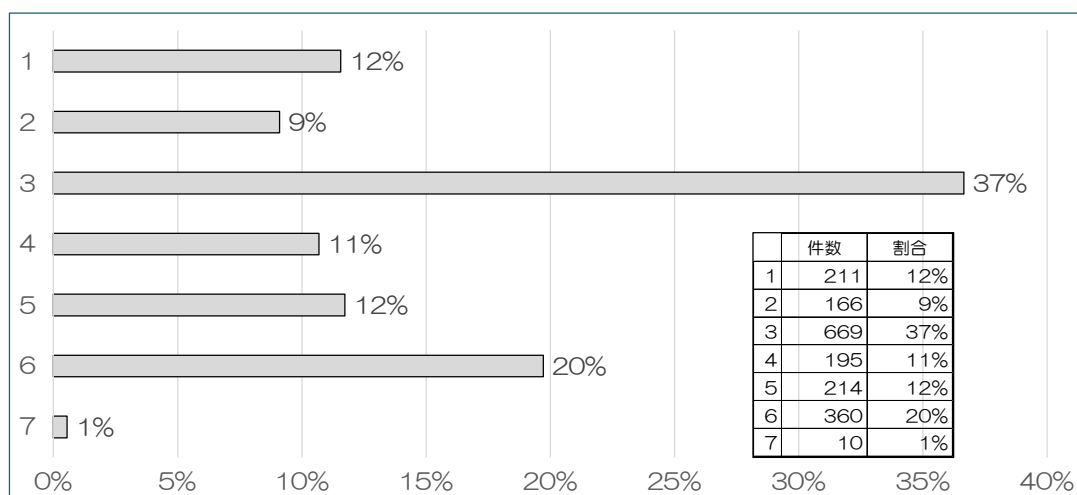
その他のご意見

- 教員数はある程度確保されるが、若手が多数入るため、中堅ベテランの負担が大きい 3件
 (学年主任の負担が大きいを含む)
- 児童一人一人に目が行き届かない 3件
- 職員間の連携 3件
- 職員の意識統一 2件
- 教員数があるようで、実際は足りていない 2件
- 熱心な教員とそうでない教員との差が大きい 1件
- 教員間、PTAと全校での意見集約や共通理解を図ることが難しい 1件
- 小規模校に近い公務負担の多さに加え、1学級あたりの児童数が多い 1件
- 学校行事や学級活動で、一人一人の活躍や出番が少なくなるから 1件
- 1クラスの人数が35人ぎりぎり、学習保障や生徒指導が大変であること 1件
- 児童、保護者の人間関係が複雑困難化している学年は、3学級以上あればと思う 1件
- 学習面や家庭面など多種多様な支援を必要とする児童が多く、人員不足を感じる 1件
- 教員一人当たりの児童生徒数が多いため、支援が必要な児童生徒に目が届きにくい 1件
- 子ども一人一人へのきめ細かな指導が難しい 1件
- 出張や病気で担当教員が不在の場合、他の教員への負担が大きい 1件
- クラス替えが難しい 1件
- 選択肢のどれも、大小関わらず課題である 1件
- よく分からない 5件 (中規模校の経験がないためを含む)
- 特になし 15件 (選択肢にあてはまらないを含む)

(3) 学校運営上の課題（小規模校）

(問い) 小規模校の運営上の課題は何だと思いますか

- 回答) 1. 複数の教員による子どもたちの多面的な評価が困難
2. 教員間で切磋琢磨する環境を作りにくく、人材育成に支障をきたす
3. 教員一人当たりの公務負担や、学校行事に関する負担が大きい
4. 習熟度別など、多様な学習形態をとりにくい
5. PTA活動などで、保護者一人当たりの負担が大きい
6. 部活動の維持、指導者の確保が困難
7. その他



その他のご意見

- 業務負担の軽重が、人によって大きな偏りを感じる 1件
- 若年教職員が多くなることによって、人材育成が困難となる 1件
- 誰かが勤務が出来なくなった場合、代教・代役がとても難しい 2件
- 出張や研修で学校外へ出ることが重なると、学習指導要領の適正実施が困難 1件
- 免許外教科の指導は教員にとって大きな負担。専門的な指導が出来ず学びの保障になっていない 1件
- 小規模であればあるほど、一人当たりの公務負担は大きくなる 1件
- 単級の場合、児童・保護者の人間関係が固定化 1件
- 選択肢のどれも、大小関わらず課題である 1件
- 特になし 1件